

「大学等における学生支援の取組状況に関する調査(平成27年度)」  
集計報告(単純集計)

平成 29 年 2 月  
独立行政法人 日本学生支援機構

このたび、大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査を行い、その結果をまとめました。調査結果は次のとおりです。

【調査の概要】

1. 目的

大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査し、学生支援に関するニーズを把握する。

2. 対象校

全国の各大学、短期大学及び高等専門学校 1,176 校

3. 調査方法

当機構ホームページ上にダウンロード用の回答票 (Excel ファイル) を掲載し、同ホームページ上の送信フォームより回答を受け付けた。

4. 調査時期

2015 (平成 27) 年 8 月 1 日 (隔年調査)

5. 回答校数

1,131 校 (総回収率 96.2%)

区分	対象校数	回答校数	回収率
大学	779	754	96.8%
国立	86	85	98.8%
公立	86	83	96.5%
私立	607	586	96.5%
短期大学	340	322	94.7%
公立	17	17	100.0%
私立	323	305	94.4%
高等専門学校	57	55	96.5%
国立	51	49	96.1%
公立	3	3	100.0%
私立	3	3	100.0%
総計	1,176	1,131	96.2%

※「大学」には大学院大学、「短期大学」には短期大学部も含む。

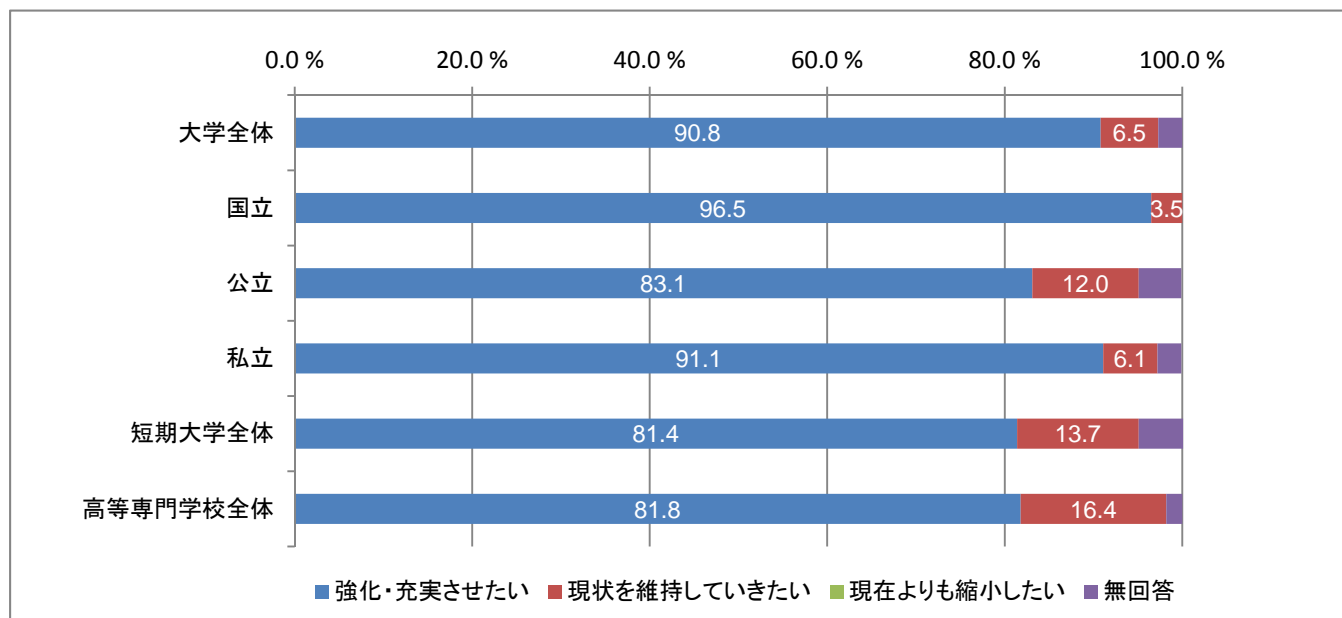
## 6. 調査内容

- I 学長等の認識 (P3～P14)
- II 学生支援に関する組織等 (P15～P22)
- III キャリア教育・就職支援 (P23～P36)
- IV 生活支援 (P37～P50)
- V 課外活動支援／ピア・サポート／ボランティア (P51～P63)
- VI 学生相談 (P64～P82)
- VII 成績不振学生・不登校学生等 (P83～P89)

## I 学長等の認識

### 学生支援の取組全般に関する各学校の方針

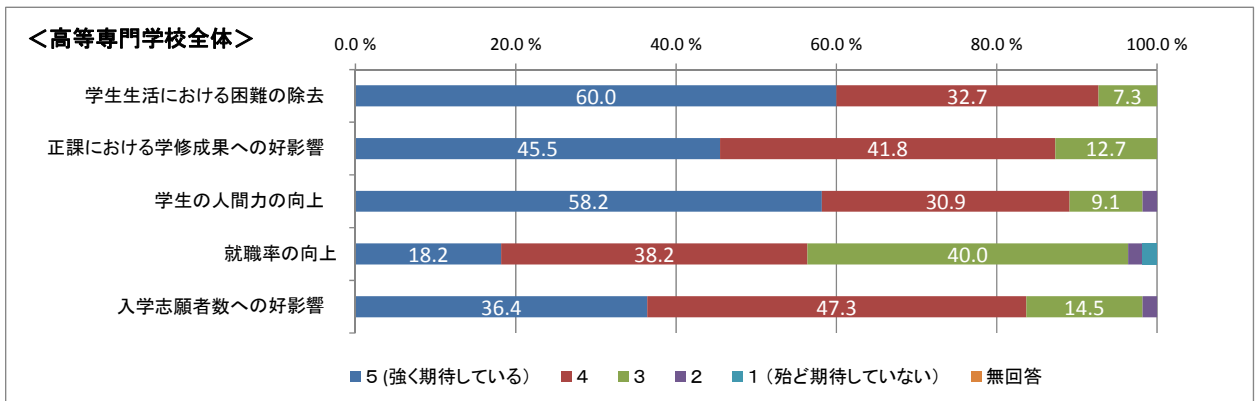
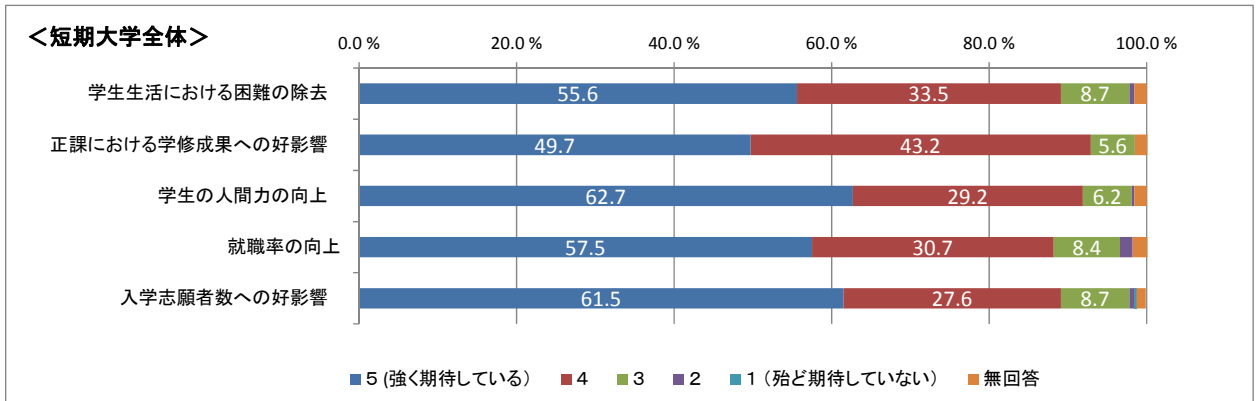
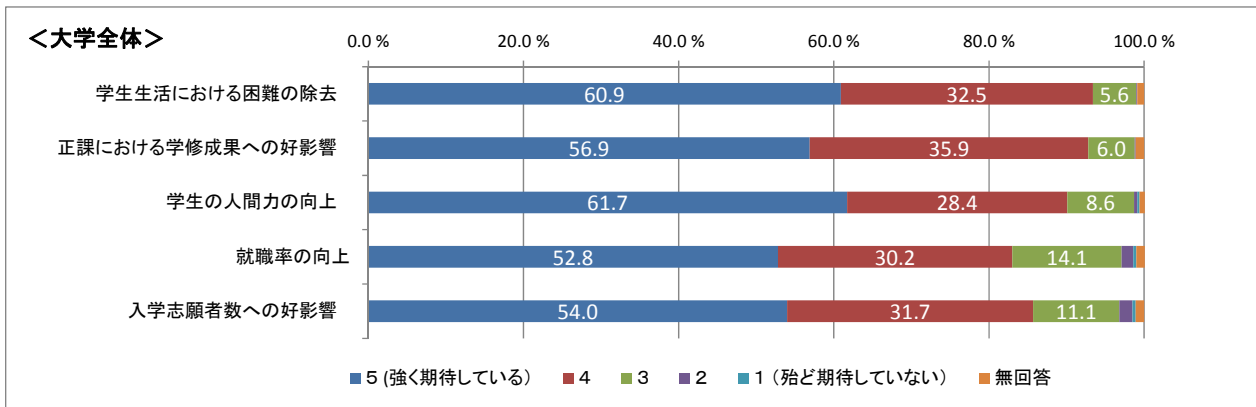
学生支援の取組全般に関する各学校の方針について、8割以上の学校が「強化・充実させたい」と回答している。



		強化・充実させたい	現状を維持していきたい	現在よりも縮小したい	無回答
大学 全体		90.8	6.5	0.0	2.7
	国立	96.5	3.5	0.0	0.0
	公立	83.1	12.0	0.0	4.8
	私立	91.1	6.1	0.0	2.7
短期大学 全体		81.4	13.7	0.0	5.0
高等専門学校 全体		81.8	16.4	0.0	1.8

### 学生支援の成果として期待すること

学生支援の成果として期待することについて、5(強く期待している)と4(期待している)の回答率の合計が最も多かったのは、大学全体では、「学生生活における困難の除去」93.4%、短期大学(以下本文中において「短大」という)全体では、「正課における学修成果への好影響」92.9%であり、その他のいずれの項目も約8割以上であった。高等専門学校(以下本文中において「高専」という)全体では、「学生生活における困難の除去」92.7%であり、「就職率の向上」56.4%を除いて、いずれも8割以上であった。



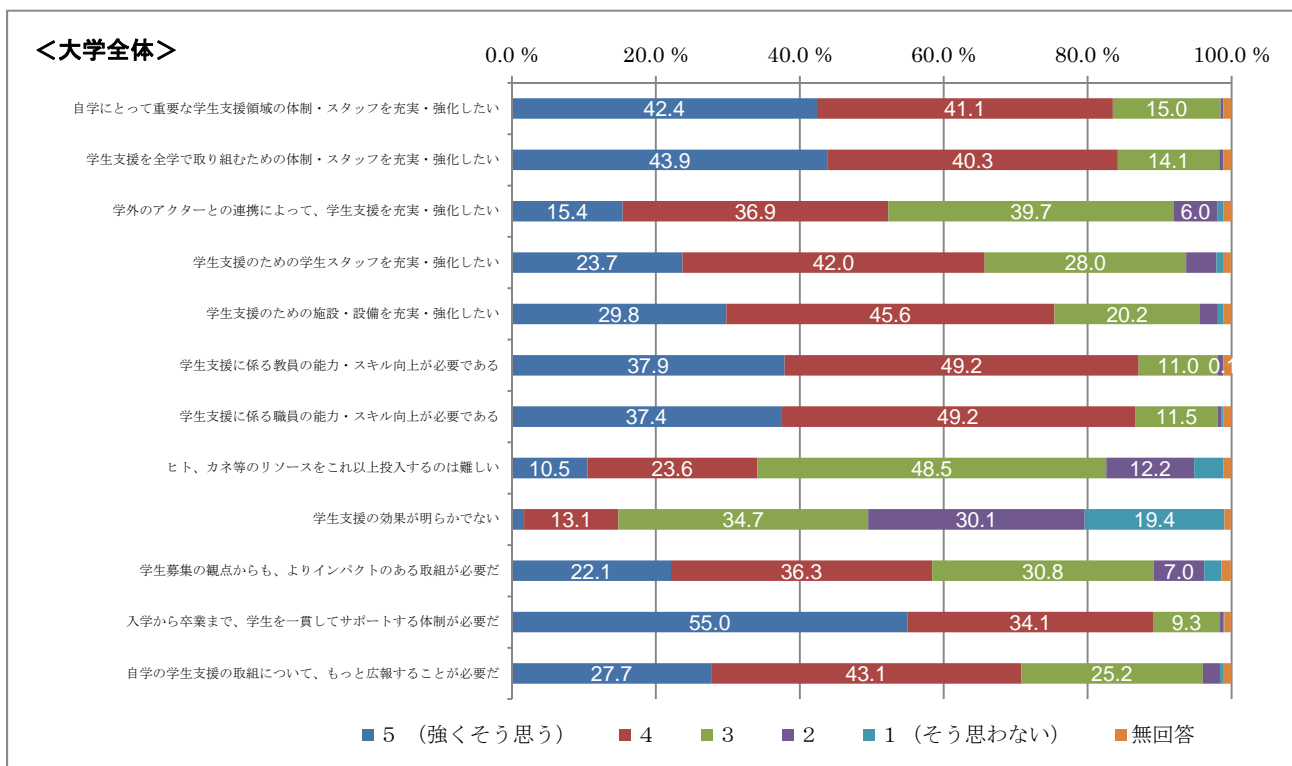
		5 (強く期待している)	4	3	2	1 (殆ど期待していない)	無回答	
難学生 の除去 生活に おける 困	大学 全体	60.9	32.5	5.6	0.1	0.0	0.9	
		国立	71.8	27.1	1.2	0.0	0.0	0.0
		公立	55.4	39.8	3.6	0.0	0.0	1.2
		私立	60.1	32.3	6.5	0.2	0.0	1.0
	短期大学 全体	55.6	33.5	8.7	0.6	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	60.0	32.7	7.3	0.0	0.0	0.0	
果正課 への好 影響 おける 学修 成	大学 全体	56.9	35.9	6.0	0.1	0.0	1.1	
		国立	54.1	38.8	7.1	0.0	0.0	0.0
		公立	43.4	48.2	7.2	0.0	0.0	1.2
		私立	59.2	33.8	5.6	0.2	0.0	1.2
	短期大学 全体	49.7	43.2	5.6	0.0	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	45.5	41.8	12.7	0.0	0.0	0.0	
学生 の人間 力の向 上	大学 全体	61.7	28.4	8.6	0.4	0.3	0.7	
		国立	55.3	29.4	14.1	0.0	1.2	0.0
		公立	50.6	34.9	12.0	0.0	1.2	1.2
		私立	64.2	27.3	7.3	0.5	0.0	0.7
	短期大学 全体	62.7	29.2	6.2	0.3	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	58.2	30.9	9.1	1.8	0.0	0.0	
就職 率の向 上	大学 全体	52.8	30.2	14.1	1.5	0.4	1.1	
		国立	57.6	29.4	10.6	2.4	0.0	0.0
		公立	43.4	25.3	27.7	1.2	1.2	1.2
		私立	53.4	31.1	12.6	1.4	0.3	1.2
	短期大学 全体	57.5	30.7	8.4	1.6	0.0	1.9	
	高等専門学校 全体	18.2	38.2	40.0	1.8	1.8	0.0	
影響 入学 志願者 数への 好	大学 全体	54.0	31.7	11.1	1.7	0.4	1.1	
		国立	44.7	40.0	11.8	3.5	0.0	0.0
		公立	41.0	32.5	20.5	3.6	1.2	1.2
		私立	57.2	30.4	9.7	1.2	0.3	1.2
	短期大学 全体	61.5	27.6	8.7	0.6	0.3	1.2	
	高等専門学校 全体	36.4	47.3	14.5	1.8	0.0	0.0	

## 学生支援を進めるための方策や課題

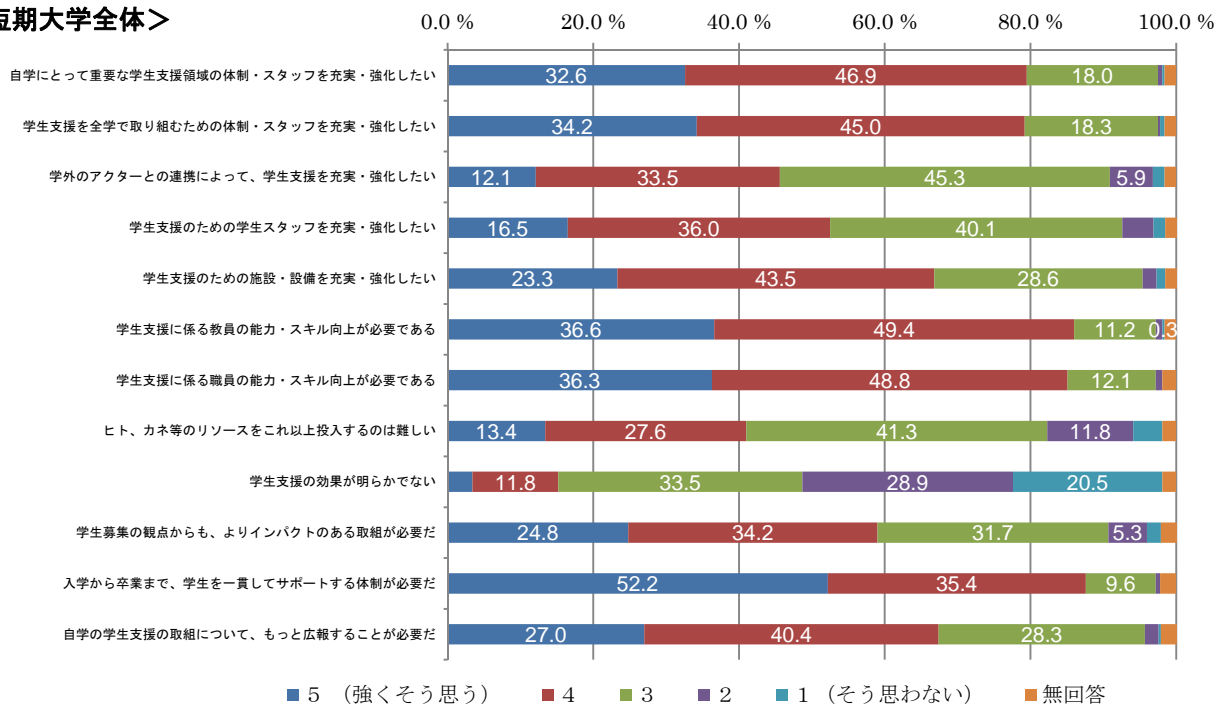
学生支援を進めるための方策や課題について、5(強くそう思う)と4(そう思う)を合わせた回答率をみると、全ての学校種に共通して「入学から卒業まで、学生を一貫してサポートする体制が必要だ」「学生支援に係る教員の能力・スキル向上が必要である」「学生支援に係る職員の能力・スキル向上が必要である」の割合が大きい。高専全体では、「ヒト、カネ等のリソースをこれ以上投入するのは難しい」が他の学校種に比べて大きな割合となっている。

「学生募集の観点からも、インパクトのある取組が必要だ」と回答した中で、どのような取組を構想(想定)しているか、に対する自由記述の回答としては、奨学金、授業料の減免、キャリア支援・インターンシップの充実、入学前教育、修学・学習支援の強化等があった。

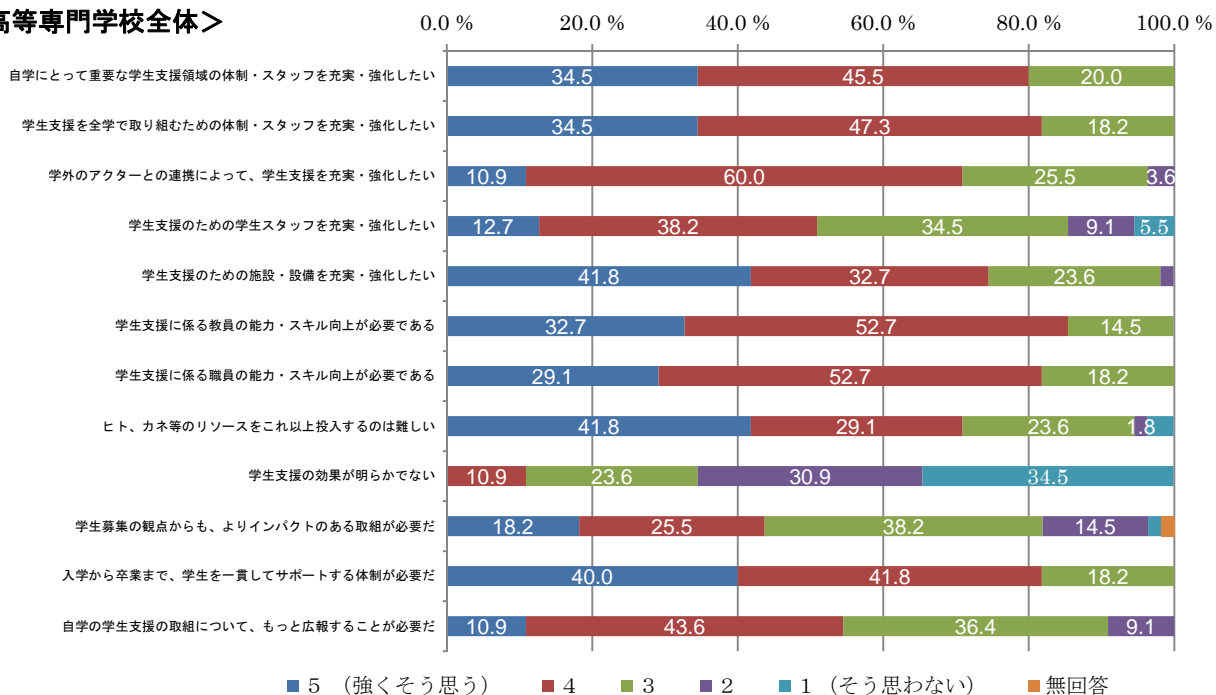
また、その他克服すべき課題としては、留年・退学者の減少、学生の学力問題への対応、障害のある学生への対応、経済的困難者に対する経済的支援の充実、学生支援のための教職員の連携強化、教職員の意識改革、安定した定員確保等があった。



### <短期大学全体>



### <高等専門学校全体>



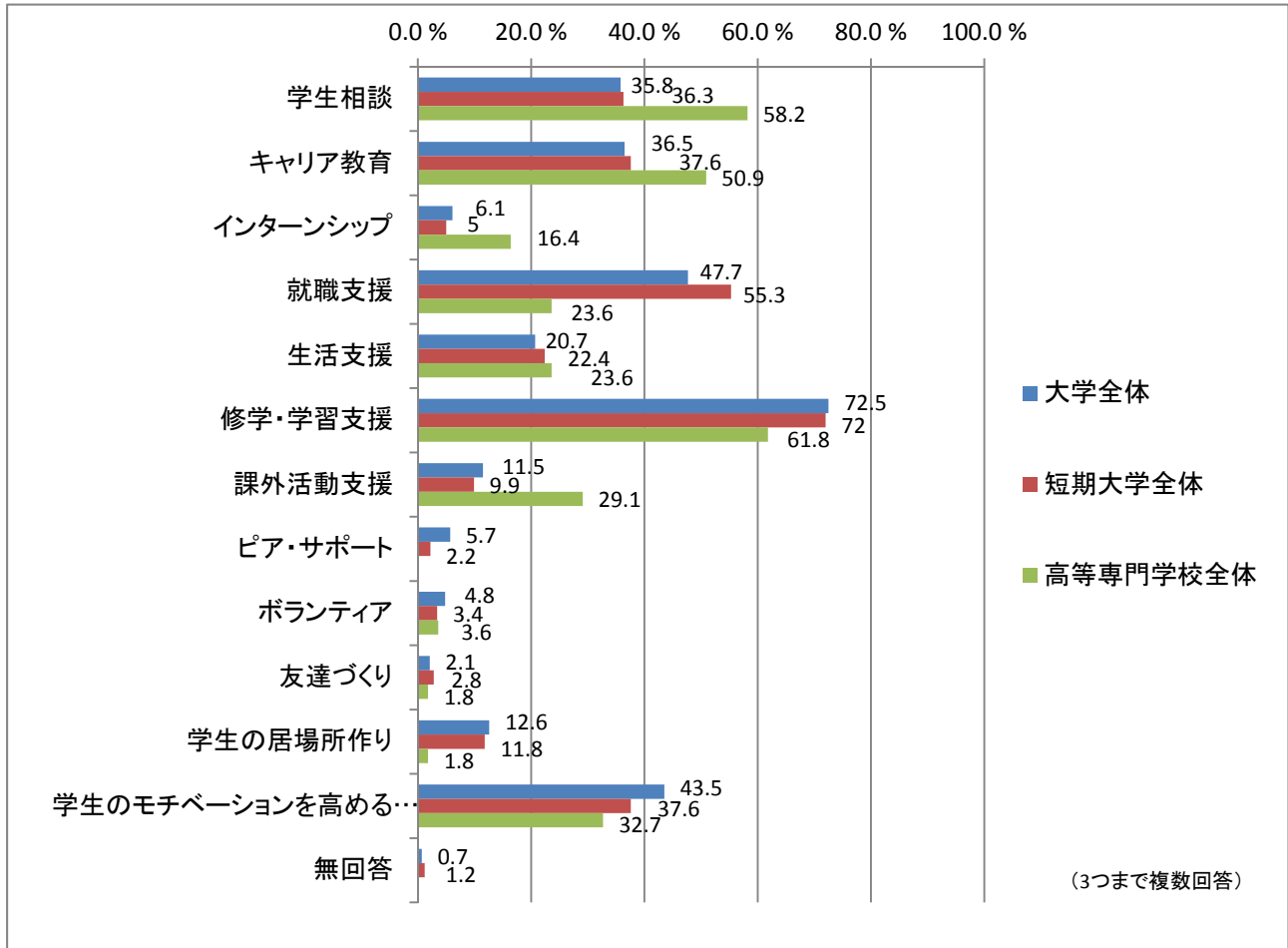
		5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答	
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	42.4	41.1	15.0	0.3	0.1	1.1	
		国立	56.5	29.4	14.1	0.0	0.0	0.0
		公立	36.1	45.8	16.9	0.0	0.0	1.2
		私立	41.3	42.2	14.8	0.3	0.2	1.2
	短期大学 全体	32.6	46.9	18.0	0.6	0.3	1.6	
高等専門学校 全体	34.5	45.5	20.0	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	43.9	40.3	14.1	0.5	0.1	1.1	
		国立	51.8	38.8	9.4	0.0	0.0	0.0
		公立	41.0	38.6	19.3	0.0	0.0	1.2
		私立	43.2	40.8	14.0	0.7	0.2	1.2
	短期大学 全体	34.2	45.0	18.3	0.3	0.6	1.6	
高等専門学校 全体	34.5	47.3	18.2	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	15.4	36.9	39.7	6.0	0.9	1.2	
		国立	18.8	38.8	40.0	1.2	1.2	0.0
		公立	16.9	41.0	36.1	4.8	0.0	1.2
		私立	14.7	36.0	40.1	6.8	1.0	1.4
	短期大学 全体	12.1	33.5	45.3	5.9	1.6	1.6	
高等専門学校 全体	10.9	60.0	25.5	3.6	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	23.7	42.0	28.0	4.2	0.9	1.1	
		国立	25.9	44.7	22.4	5.9	1.2	0.0
		公立	13.3	50.6	30.1	4.8	0.0	1.2
		私立	24.9	40.4	28.5	3.9	1.0	1.2
	短期大学 全体	16.5	36.0	40.1	4.3	1.6	1.6	
高等専門学校 全体	12.7	38.2	34.5	9.1	5.5	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	29.8	45.6	20.2	2.5	0.8	1.1	
		国立	35.3	44.7	17.6	2.4	0.0	0.0
		公立	28.9	41.0	24.1	2.4	2.4	1.2
		私立	29.3	46.6	20.0	2.6	0.7	1.2
	短期大学 全体	23.3	43.5	28.6	1.9	1.2	1.6	
高等専門学校 全体	41.8	32.7	23.6	1.8	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	37.9	49.2	11.0	0.7	0.1	1.1	
		国立	40.0	47.1	12.9	0.0	0.0	0.0
		公立	31.3	43.4	21.7	2.4	0.0	1.2
		私立	38.6	50.3	9.2	0.5	0.2	1.2
	短期大学 全体	36.6	49.4	11.2	0.9	0.3	1.6	
高等専門学校 全体	32.7	52.7	14.5	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	37.4	49.2	11.5	0.5	0.3	1.1	
		国立	35.3	47.1	17.6	0.0	0.0	0.0
		公立	31.3	47.0	19.3	1.2	0.0	1.2
		私立	38.6	49.8	9.6	0.5	0.3	1.2
	短期大学 全体	36.3	48.8	12.1	0.9	0.0	1.9	
高等専門学校 全体	29.1	52.7	18.2	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域 要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	10.5	23.6	48.5	12.2	4.1	1.1	
		国立	15.3	28.2	37.6	14.1	4.7	0.0
		公立	14.5	24.1	47.0	10.8	2.4	1.2
		私立	9.2	22.9	50.3	12.1	4.3	1.2
	短期大学 全体	13.4	27.6	41.3	11.8	4.0	1.9	
高等専門学校 全体	41.8	29.1	23.6	1.8	3.6	0.0		



		5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答	
が学 明生 ら支 か援 で の効 果 ない	大学 全体	1.7	13.1	34.7	30.1	19.4	0.9	
		国立	1.2	9.4	30.6	31.8	27.1	0.0
		公立	3.6	14.5	30.1	28.9	21.7	1.2
		私立	1.5	13.5	36.0	30.0	17.9	1.0
	短期大学 全体	3.4	11.8	33.5	28.9	20.5	1.9	
	高等専門学校 全体	0.0	10.9	23.6	30.9	34.5	0.0	
取ンか学 組バから がクも募 必要ト、集 のよりの 点ある観 るイ点	大学 全体	22.1	36.3	30.8	7.0	2.4	1.3	
		国立	14.1	40.0	28.2	12.9	4.7	0.0
		公立	14.5	28.9	42.2	12.0	1.2	1.2
		私立	24.4	36.9	29.5	5.5	2.2	1.5
	短期大学 全体	24.8	34.2	31.7	5.3	1.9	2.2	
	高等専門学校 全体	18.2	25.5	38.2	14.5	1.8	1.8	
るしで入 体て、学 制サ学か がポ生ら 必要トを だす業 貫ま	大学 全体	55.0	34.1	9.3	0.5	0.1	0.9	
		国立	58.8	32.9	8.2	0.0	0.0	0.0
		公立	45.8	42.2	9.6	0.0	1.2	1.2
		私立	55.8	33.1	9.4	0.7	0.0	1.0
	短期大学 全体	52.2	35.4	9.6	0.6	0.0	2.2	
	高等専門学校 全体	40.0	41.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
だすの自 る、取学 こも組の とつに学 がとつ生 必広い支 要報援	大学 全体	27.7	43.1	25.2	2.4	0.4	1.2	
		国立	25.9	42.4	28.2	2.4	1.2	0.0
		公立	20.5	47.0	27.7	2.4	1.2	1.2
		私立	29.0	42.7	24.4	2.4	0.2	1.4
	短期大学 全体	27.0	40.4	28.3	1.9	0.3	2.2	
	高等専門学校 全体	10.9	43.6	36.4	9.1	0.0	0.0	

## 学生支援において特に重視すべき領域

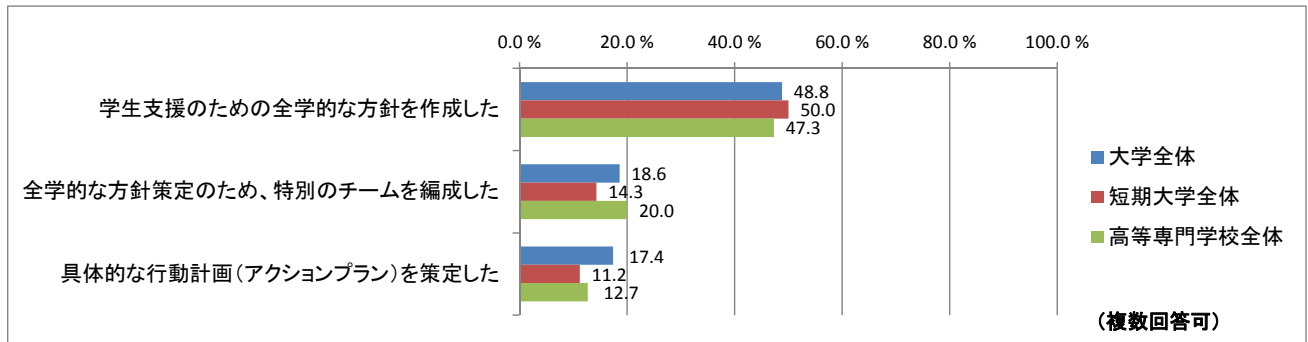
学生支援において特に重視すべき領域について、各学校種ともに最も回答率が高かったのは「修学・学習支援」(大学全体72.5%、短大全体72.0%、高専全体61.8%)であった。次いで大学全体・短大全体では、「就職支援」「学生のモチベーションを高める取組」と続き、全ての領域でほぼ同様の傾向であった。一方、高専全体では「学生相談」「キャリア教育」の回答率が高くなっており、学校種間の差が見られた。



	学生相談	キャリア教育	インターンシップ	就職支援	生活支援	修学・学習支援	課外活動支援	ピア・サポート	ボランティア	友達づくり	学生の居場所作り	学生のモチベーションを高める取組	無回答
大学 全体	35.8	36.5	6.1	47.7	20.7	72.5	11.5	5.7	4.8	2.1	12.6	43.5	0.7
国立	55.3	37.6	10.6	52.9	31.8	68.2	10.6	5.9	3.5	1.2	4.7	20.0	0.0
公立	43.4	43.4	7.2	45.8	27.7	56.6	10.8	6.0	4.8	1.2	13.3	36.1	1.2
私立	31.9	35.3	5.3	47.3	18.1	75.4	11.8	5.6	4.9	2.4	13.7	48.0	0.7
短期大学 全体	36.3	37.6	5.0	55.3	22.4	72.0	9.9	2.2	3.4	2.8	11.8	37.6	1.2
高等専門学校 全体	58.2	50.9	16.4	23.6	23.6	61.8	29.1	0.0	3.6	1.8	1.8	32.7	0.0

## 学生支援のための全学的方針等

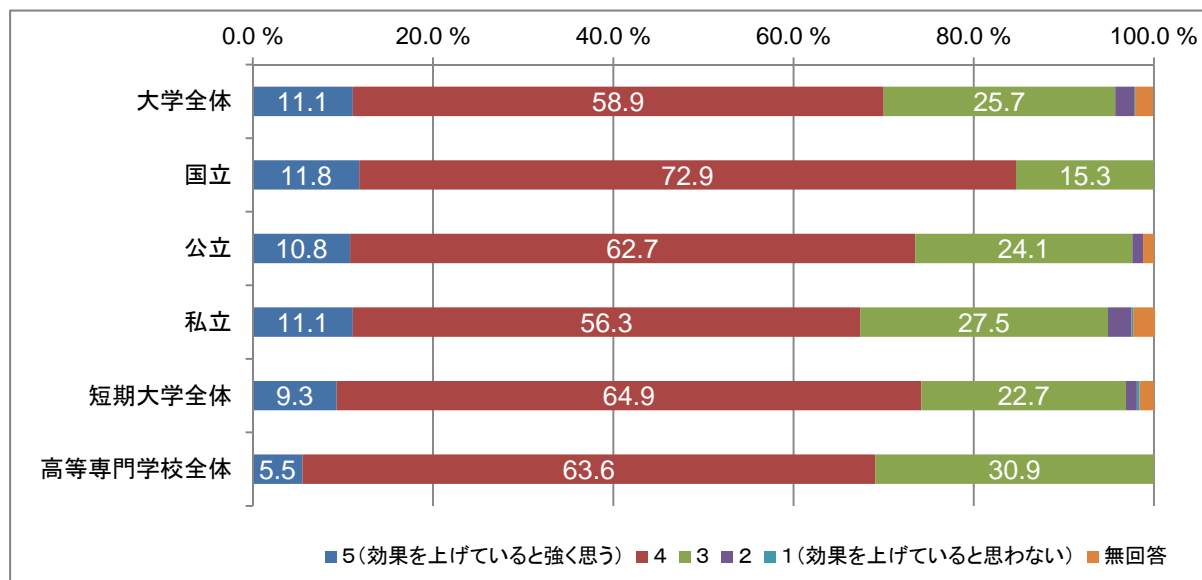
学生支援のための全学的方針等について、各学校種ともに最も回答率が高かったのは、「学生支援のための全学的な方針を作成した」であり、約5割の学校で取り組まれている。



	学生支援のための全学的な方針を作成した	全学的な方針策定のため、特別のチームを編成した	具体的な行動計画(アクションプラン)を策定した	無回答
大学 全体	48.8	18.6	17.4	34.0
国立	47.1	15.3	20.0	37.6
公立	39.8	7.2	14.5	44.6
私立	50.3	20.6	17.4	31.9
短期大学 全体	50.0	14.3	11.2	38.8
高等専門学校 全体	47.3	20.0	12.7	27.3

## 学生支援の取組の効果

学生支援の取組の効果について、5(効果を上げていると強く思う)と4(効果を上げていると思う)を合わせた回答率をみると、全学校種において60%以上で効果を上げていると回答している。特に国立大学は、80%を超えている。



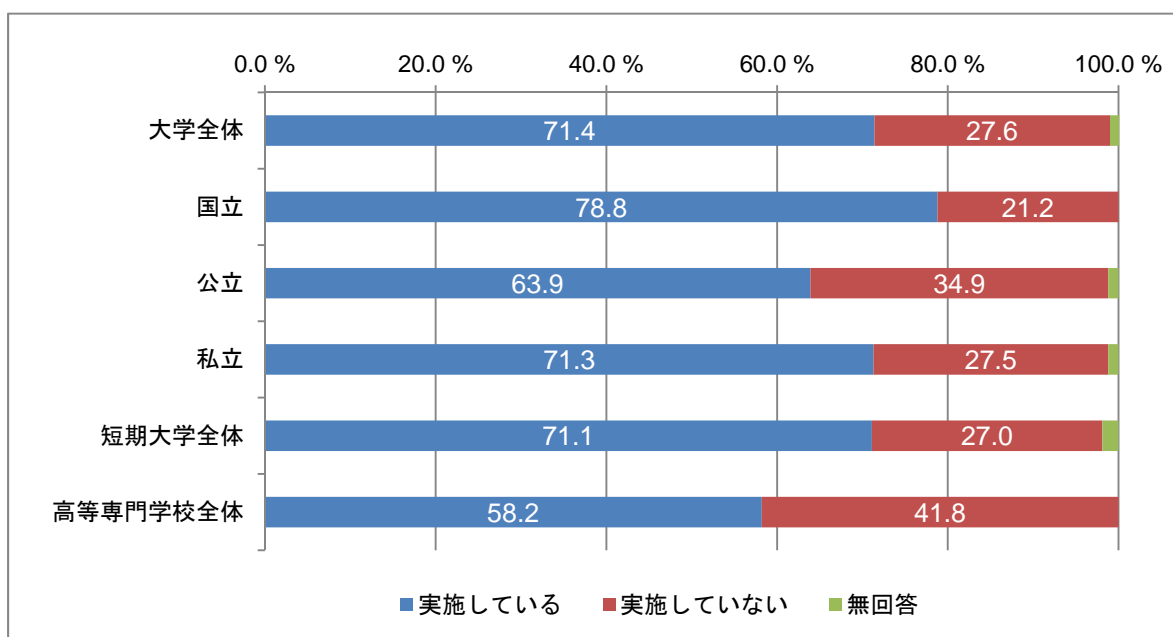
	5 (効果を上げ ていると強く 思う)	4	3	2	1 (効果を上げ ていると思わ ない)	無回答
大学 全体	11.1	58.9	25.7	2.1	0.1	2.0
国立	11.8	72.9	15.3	0.0	0.0	0.0
公立	10.8	62.7	24.1	1.2	0.0	1.2
私立	11.1	56.3	27.5	2.6	0.2	2.4
短期大学 全体	9.3	64.9	22.7	1.2	0.3	1.6
高等専門学校 全体	5.5	63.6	30.9	0.0	0.0	0.0

## 学生支援の効果を測定するための評価の実施率及び評価の指標

学生支援の効果を測定するための評価の実施について、学校種別でみると、大学全体と短大全体では70%以上が「実施している」と回答しており、大学全体を設置者別でみると、最も高いのは国立大学であり、78.8%で実施されている。

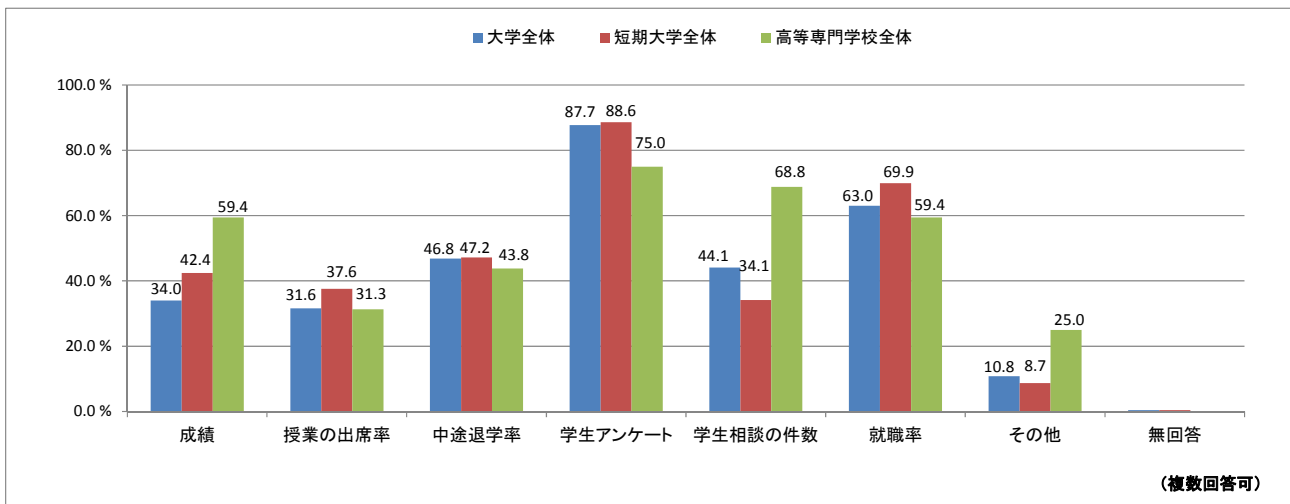
学生支援の効果を測定するための評価の指標で、全学校種共通で最も高かったのは「学生アンケート」であった。次いで、大学全体・短大全体では「就職率」が高かった。高専全体では、大学全体・短大全体に比べ、「学生相談の件数」「成績」が高い。「その他」としては、保護者や卒業生に対するアンケート、資格取得率、課外活動での活躍等があった。

### <評価の実施率>



		実施している	実施していない	無回答
大学 全体		71.4	27.6	1.1
	国立	78.8	21.2	0.0
	公立	63.9	34.9	1.2
	私立	71.3	27.5	1.2
短期大学 全体		71.1	27.0	1.9
高等専門学校 全体		58.2	41.8	0.0

<評価の指標>

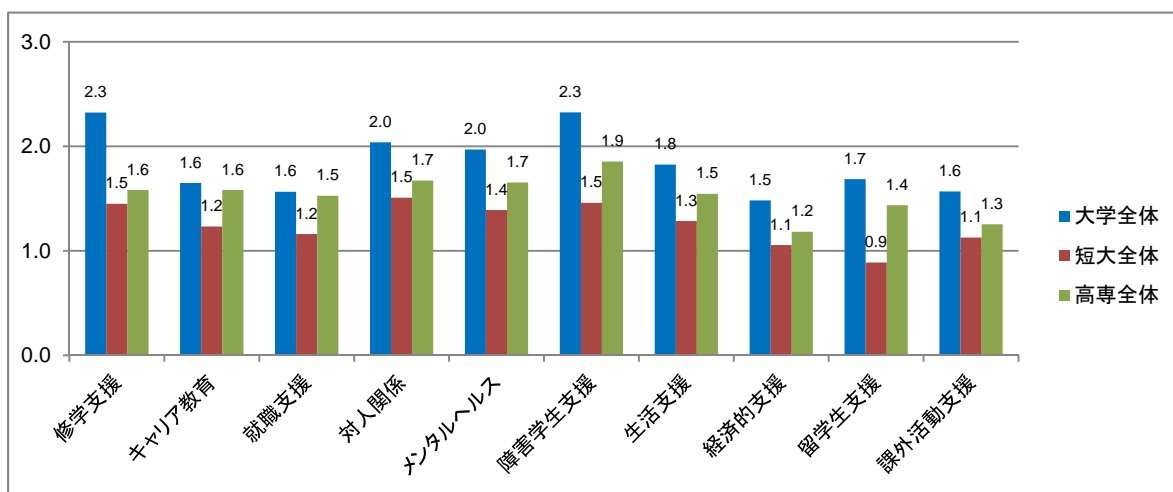


	成績	授業の出席率	中途退学率	学生アンケート	学生相談の件数	就職率	その他	無回答
大学 全体	34.0	31.6	46.8	87.7	44.1	63.0	10.8	0.4
国立	23.9	14.9	26.9	89.6	61.2	65.7	11.9	0.0
公立	20.8	13.2	34.0	88.7	49.1	66.0	20.8	0.0
私立	37.3	36.6	51.7	87.3	40.7	62.2	9.3	0.5
短期大学 全体	42.4	37.6	47.2	88.6	34.1	69.9	8.7	0.4
高等専門学校 全体	59.4	31.3	43.8	75.0	68.8	59.4	25.0	0.0

## Ⅱ 学生支援に関する組織等

### 学生支援に関する組織等の支援内容別組織数

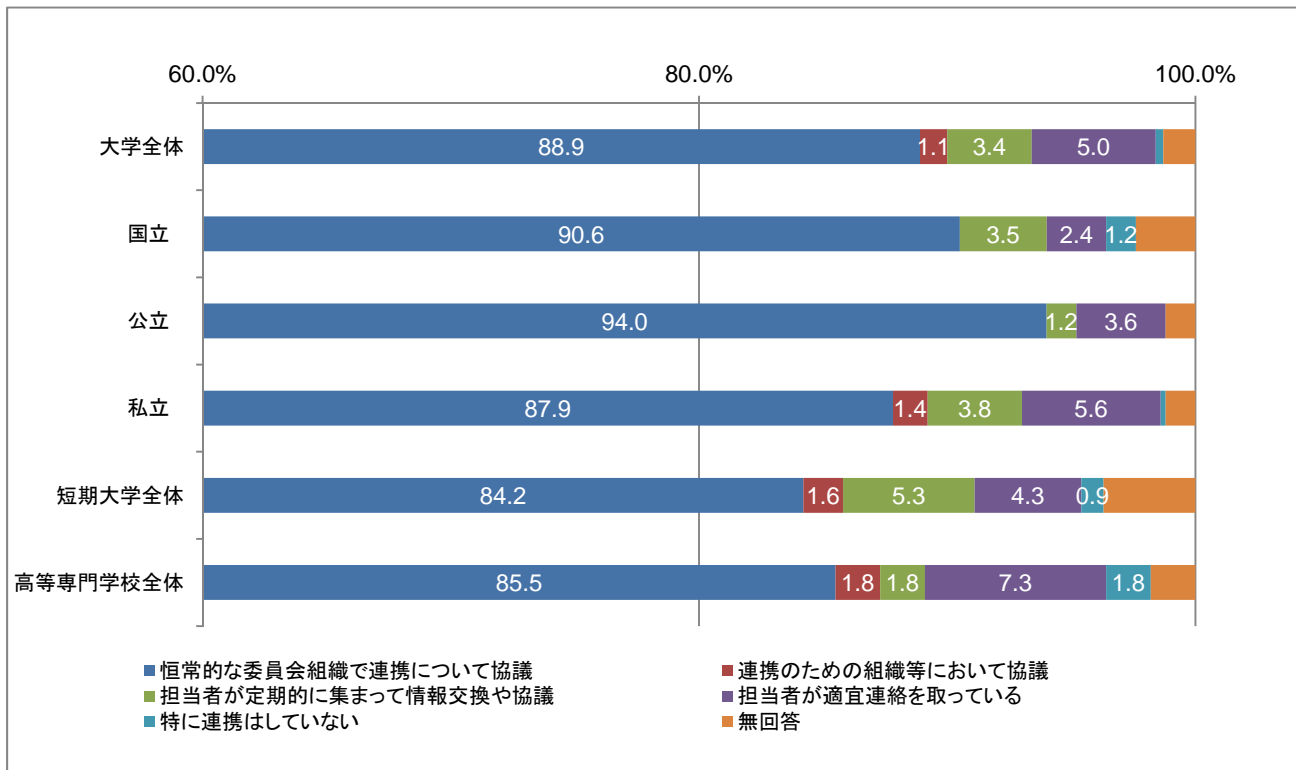
学生支援に関する組織等の支援内容別組織数(1学校当たりの平均組織数)について、全学校種に共通して「障害学生支援」(大学全体 2.3、短大全体 1.5、高専全体 1.9)の領域が多く、大学全体・短大全体においては「修学支援」も多い領域となっている。一方、高専全体では「対人関係」(1.7)、「メンタルヘルス」(1.7)が多い領域となっている。



領域	平成27年度			<参考> 平成25年度		
	大学全体	短大全体	高専全体	大学全体	短大全体	高専全体
修学支援	2.3	1.5	1.6	2.3	1.5	1.5
キャリア教育	1.6	1.2	1.6	1.7	1.3	1.5
就職支援	1.6	1.2	1.5	1.5	1.3	1.5
対人関係	2.0	1.5	1.7	2.1	1.6	1.6
メンタルヘルス	2.0	1.4	1.7	2.0	1.5	1.6
障害学生支援	2.3	1.5	1.9	2.3	1.6	1.8
生活支援	1.8	1.3	1.5	1.8	1.4	1.4
経済的支援	1.5	1.1	1.2	1.5	1.2	1.1
留学生支援	1.7	0.9	1.4	1.7	1.0	1.3
課外活動支援	1.6	1.1	1.3	1.5	1.2	1.1

## 組織間での連携のための委員会・組織等の設置状況

組織間での連携のための協議等については、各学校種とも「恒常的な委員会組織で連携について協議」と回答した割合が最も高く、大学全体で88.9%、短大全体84.2%、高専全体で85.5%でいずれも8割を超えている。



	恒常的な委員会組織で連携について協議	連携のための組織等において協議	担当者が定期的に集まって情報交換や協議	担当者が適宜連絡を取っている	特に連携はしていない	無回答
平成27年度	大学 全体	88.9	1.1	3.4	5.0	1.3
	国立	90.6	0.0	3.5	2.4	2.4
	公立	94.0	0.0	1.2	3.6	1.2
	私立	87.9	1.4	3.8	5.6	1.2
	短期大学 全体	84.2	1.6	5.3	4.3	3.7
	高等専門学校 全体	85.5	1.8	1.8	7.3	1.8

<参考>

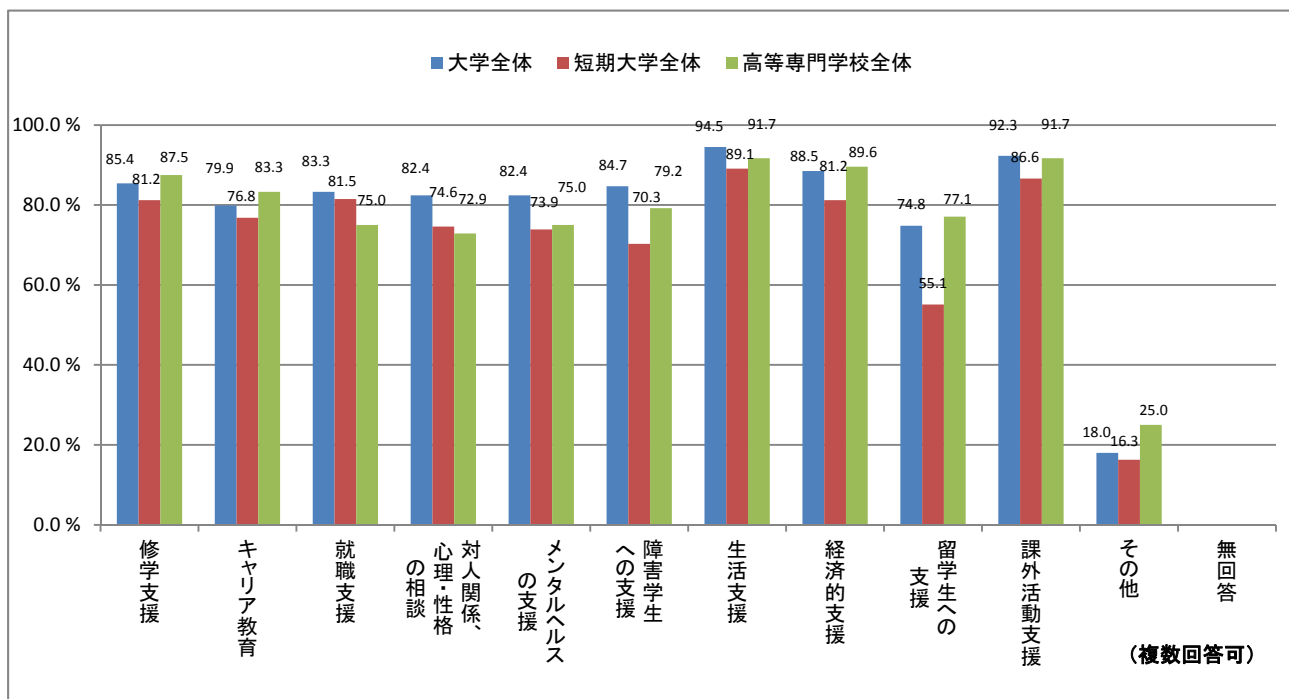
平成25年度	大学 全体	87.0	2.0	2.4	5.4	2.6
	国立	95.3	1.2	2.4	1.2	0.0
	公立	84.4	0.0	3.9	3.9	6.5
	私立	86.1	2.4	2.3	6.2	2.4
	短期大学 全体	82.7	2.7	4.6	6.1	3.6
	高等専門学校 全体	85.2	0.0	1.9	11.1	0.0



## 組織間での連携のための委員会・組織等が所掌する支援内容

組織間での連携のための委員会・組織等が所掌する支援内容について、各学校種とも「生活支援」が最も高くなっており、次いで「課外活動支援」となっている。前回調査と比較すると概ね大きな変化は見られないが、高専全体で「障害学生への支援」が89.1%から79.2%に減少した(9.9ポイント減)。

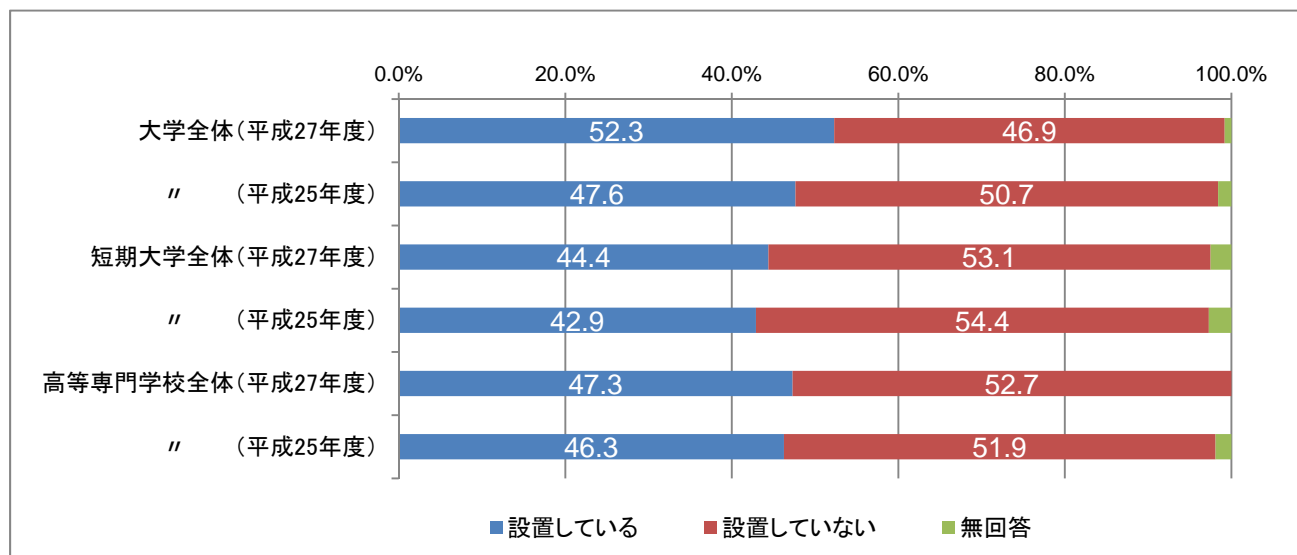
「その他」としては、ハラスメント等人権問題に関する支援、ボランティア支援、学生寮に関すること、健康管理や学生の防災・安全に関すること等があった。



		修学支援	キャリア教育	就職支援	対人関係、心理・性格の相談	メンタルヘルスの支援	障害学生への支援	生活支援	経済的支援	留学生への支援	課外活動支援	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	85.4	79.9	83.3	82.4	82.4	84.7	94.5	88.5	74.8	92.3	18.0	0.1
	国立	92.2	94.8	96.1	84.4	85.7	98.7	100.0	100.0	90.9	97.4	23.4	0.0
	公立	85.9	76.9	85.9	76.9	80.8	82.1	93.6	85.9	73.1	89.7	12.8	0.0
	私立	84.3	78.2	81.1	83.0	82.2	83.0	93.9	87.2	72.7	92.0	18.0	0.2
	短期大学 全体	81.2	76.8	81.5	74.6	73.9	70.3	89.1	81.2	55.1	86.6	16.3	0.0
高等専門学校 全体	87.5	83.3	75.0	72.9	75.0	79.2	91.7	89.6	77.1	91.7	25.0	0.0	
<参考>													
平成25年度	大学 全体	84.2	80.2	82.2	78.7	80.2	80.9	91.2	86.5	73.6	88.4	17.5	0.5
	国立	90.2	87.8	82.9	78.0	74.4	90.2	98.8	98.8	81.7	93.9	23.2	1.2
	公立	76.9	87.7	90.8	78.5	83.1	75.4	86.2	84.6	69.2	89.2	16.9	0.0
	私立	84.1	78.1	81.0	78.9	80.6	80.0	90.6	84.7	72.8	87.5	16.6	0.4
	短期大学 全体	81.9	81.1	86.5	78.6	78.3	73.7	89.3	79.0	60.5	87.2	13.2	0.7
高等専門学校 全体	93.5	82.6	73.9	78.3	76.1	89.1	89.1	84.8	78.3	91.3	15.2	0.0	

## 学生の抱える課題に対して包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織の設置状況

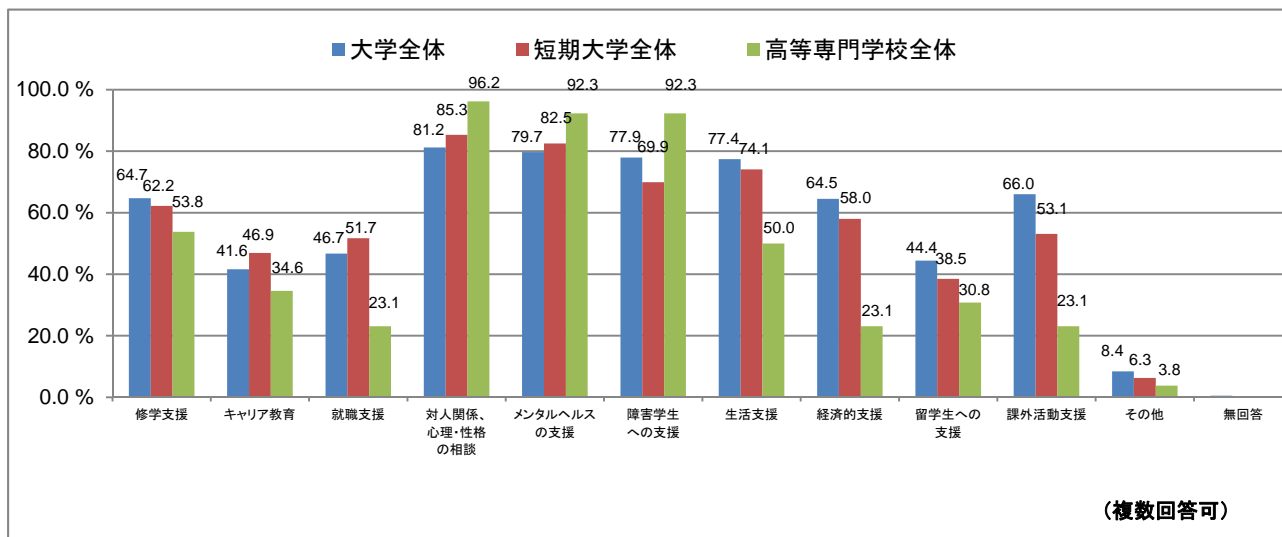
領域横断的かつ恒常的な組織の設置状況について、「設置している」と回答があったのは、大学全体 52.3%、短大全体 44.4%、高専全体 47.3%であり、大学全体を設置者別で見ると、国立大学が特に高く、68.2%であった。全学校種において前回調査と比較して、設置率が高くなっている。



	平成27年度			<参考> 平成25年度		
	設置している	設置していない	無回答	設置している	設置していない	無回答
大学 全体	52.3	46.9	0.8	47.6	50.7	1.6
国立	68.2	31.8	0.0	67.1	32.9	0.0
公立	32.5	66.3	1.2	31.2	67.5	1.3
私立	52.7	46.4	0.9	47.0	51.1	1.9
短期大学 全体	44.4	53.1	2.5	42.9	54.4	2.7
高等専門学校 全体	47.3	52.7	0.0	46.3	51.9	1.9

## 学生の抱える課題に対して包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織が所掌する支援内容

領域横断的かつ恒常的な組織が所掌する支援内容について、各学校種とも「対人関係・心理・性格の相談」に関するもの、「メンタルヘルスの支援」に関するものが高かった。前回調査との比較で最も増加したのは、大学全体では、「就職支援」「生活支援」（ともに4.7ポイント増）、短大全体では、「生活支援」（5.3ポイント増）、高専全体では、「留学生への支援」（18.8ポイント増）であった。



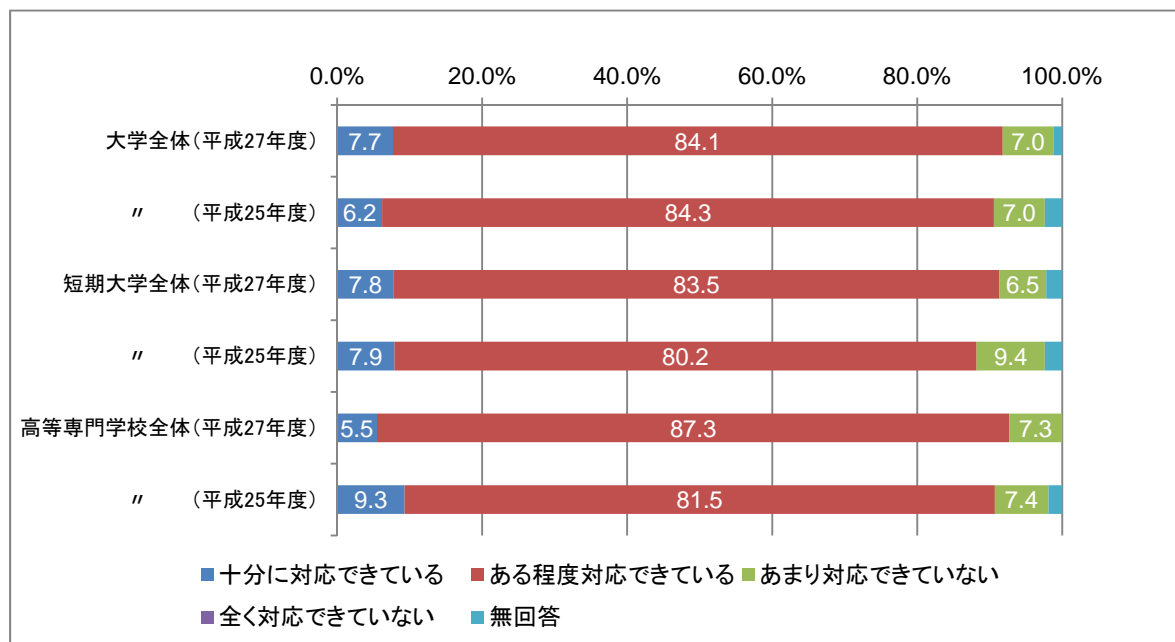
		修学支援	キャリア教育	就職支援	対人関係・心理・性格の相談	メンタルヘルスの支援	障害学生への支援	生活支援	経済的支援	留学生への支援	課外活動支援	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	64.7	41.6	46.7	81.2	79.7	77.9	77.4	64.5	44.4	66.0	8.4	0.5
	国立	67.2	58.6	74.1	79.3	82.8	84.5	77.6	69.0	51.7	74.1	10.3	0.0
	公立	59.3	51.9	70.4	74.1	77.8	77.8	70.4	59.3	44.4	55.6	14.8	0.0
	私立	64.7	37.5	39.5	82.2	79.3	76.7	78.0	64.1	43.0	65.4	7.4	0.6
	短期大学 全体	62.2	46.9	51.7	85.3	82.5	69.9	74.1	58.0	38.5	53.1	6.3	0.0
高等専門学校 全体	53.8	34.6	23.1	96.2	92.3	92.3	50.0	23.1	30.8	23.1	3.8	0.0	

<参考>

平成25年度	大学 全体	65.1	41.5	42.0	81.0	78.4	76.4	72.7	60.5	41.8	63.1	10.2	1.4
	国立	68.4	57.9	63.2	77.2	73.7	80.7	73.7	64.9	40.4	63.2	10.5	1.8
	公立	66.7	54.2	54.2	87.5	83.3	75.0	79.2	70.8	58.3	70.8	8.3	4.2
	私立	64.2	36.9	36.5	81.2	79.0	75.6	72.0	58.7	40.6	62.4	10.3	1.1
	短期大学 全体	64.5	43.3	47.5	80.9	79.4	72.3	68.8	59.6	39.7	58.9	5.7	0.7
高等専門学校 全体	36.0	16.0	12.0	96.0	96.0	100.0	32.0	12.0	12.0	12.0	4.0	0.0	

## 学生の抱える多様で複合的な課題に対する、学校の組織の対応状況

学生の抱える多様で複合的な課題に対する、学校の組織の対応状況について、各学校種とも、「十分に対応できている」「ある程度対応できている」を合わせると、9割前後で「対応できている」との結果であり、前回調査からは微増している。



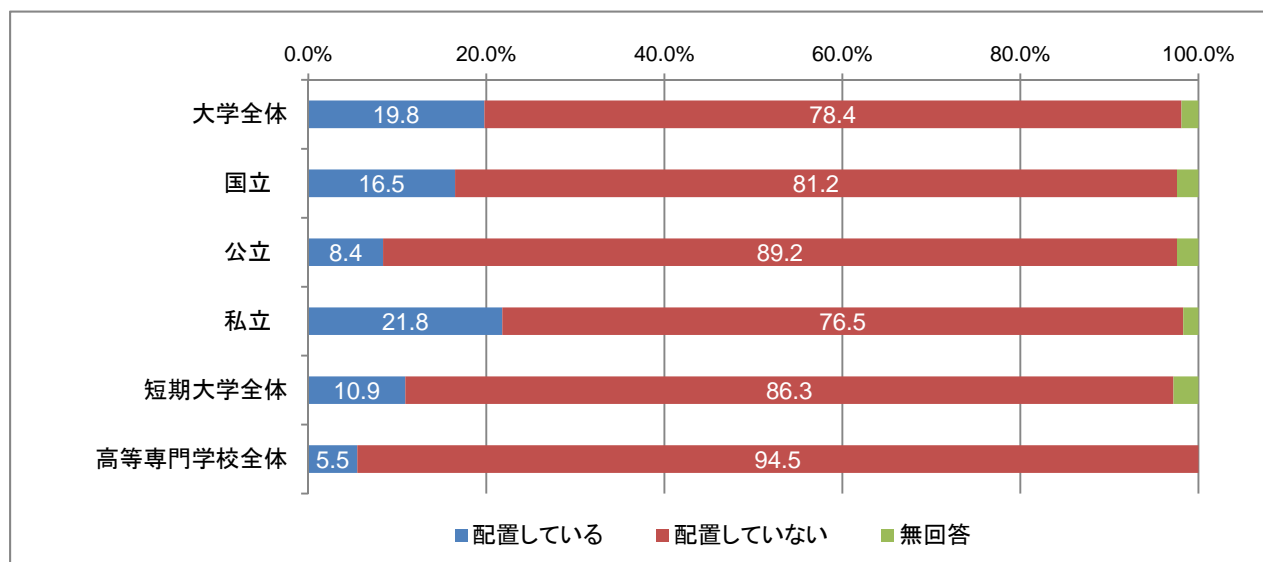
		十分に対応できている	ある程度対応できている	あまり対応できていない	全く対応できていない	無回答
平成27年度	大学 全体	7.7	84.1	7.0	0.0	1.2
	国立	8.2	88.2	2.4	0.0	1.2
	公立	6.0	86.7	6.0	0.0	1.2
	私立	7.8	83.1	7.8	0.0	1.2
	短期大学 全体	7.8	83.5	6.5	0.0	2.2
高等専門学校 全体	5.5	87.3	7.3	0.0	0.0	

<参考>

		十分に対応できている	ある程度対応できている	あまり対応できていない	全く対応できていない	無回答
平成25年度	大学 全体	6.2	84.3	7.0	0.0	2.4
	国立	10.6	85.9	1.2	0.0	2.4
	公立	5.2	88.3	5.2	0.0	1.3
	私立	5.7	83.5	8.1	0.0	2.6
	短期大学 全体	7.9	80.2	9.4	0.0	2.4
高等専門学校 全体	9.3	81.5	7.4	0.0	1.9	

## 学習アドバイザーやアカデミック・プランナー等の専門知識・技能を有するスタッフの配置状況

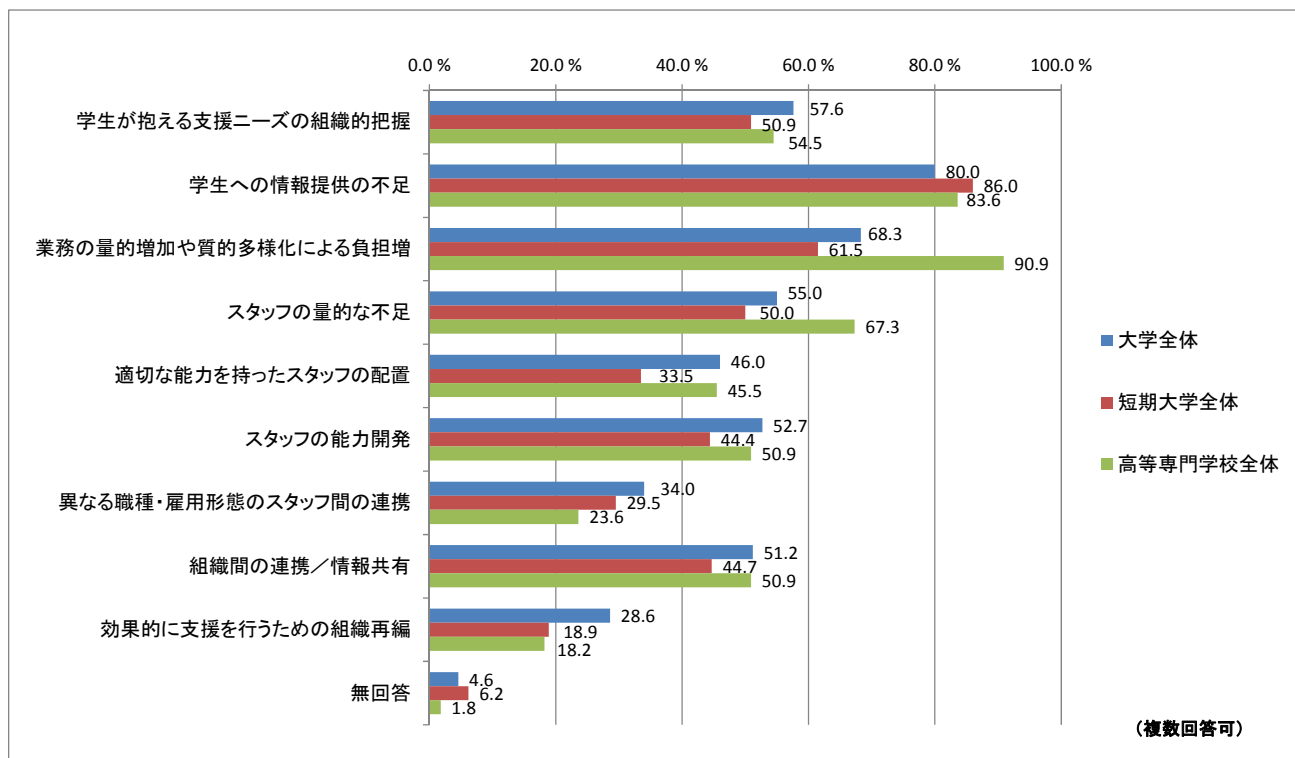
学習アドバイザーやアカデミック・プランナー等の専門知識・技能を有するスタッフの配置状況について、「配置している」と回答した学校は、大学全体では19.8%、短大全体では10.9%、高専全体では5.5%、大学の設置者別でみると、私立の配置率が21.8%と最も高かった。



	配置している	配置していない	無回答
大学 全体	19.8	78.4	1.9
国立	16.5	81.2	2.4
公立	8.4	89.2	2.4
私立	21.8	76.5	1.7
短期大学 全体	10.9	86.3	2.8
高等専門学校 全体	5.5	94.5	0.0

## 学生支援のための組織の設計や運用等における課題

学生支援のための組織の設計や運用等における課題について、各学校種共通して多かったものは「学生への情報提供の不足」であり、8割を超えている。高専全体においては「業務の量的増加や質的多様化による負担増」が最も多く9割を超え、大学全体・短大全体と比較すると差が大きい。

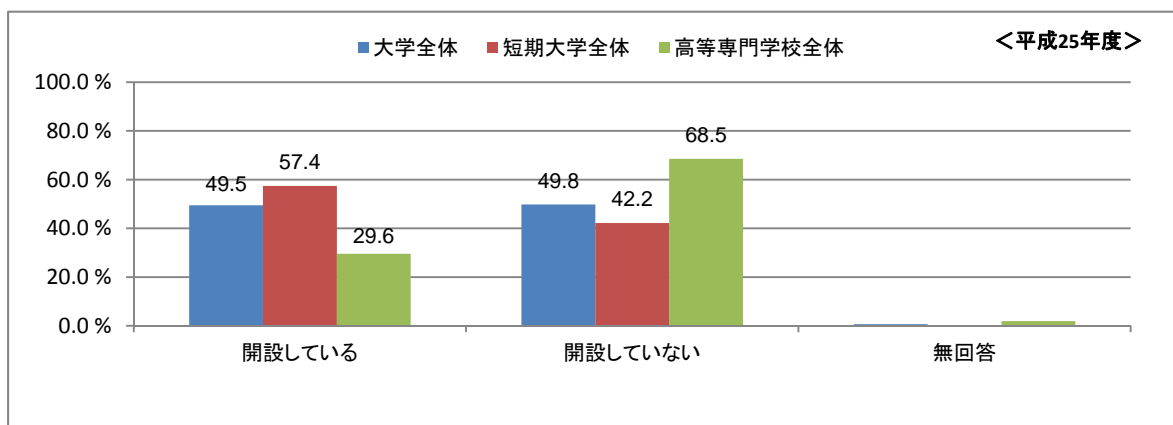
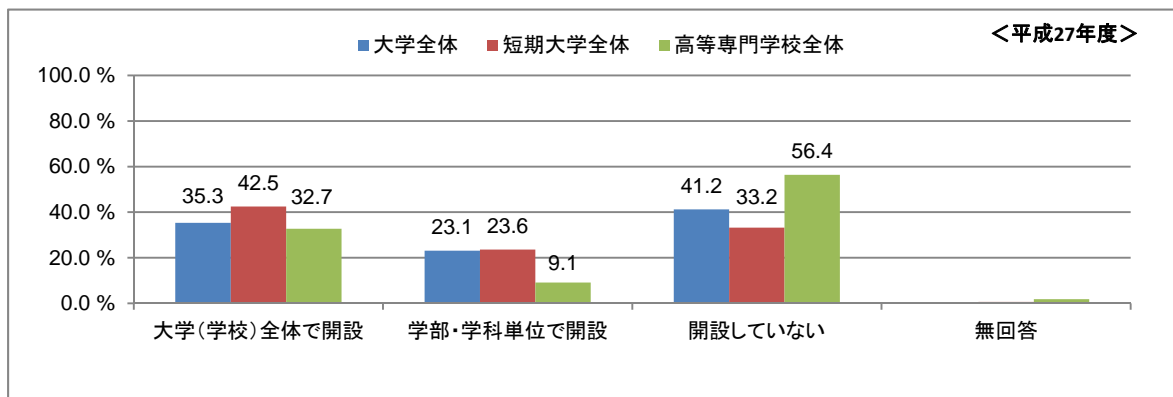


	学生が抱える支援ニーズの組織的把握	学生への情報提供の不足	業務の量的増加や質的多様化による負担増	スタッフの量的な不足	適切な能力を持ったスタッフの配置	スタッフの能力開発	異なる職種・雇用形態のスタッフ間の連携	組織間の連携／情報共有	効果的に支援を行うための組織再編	無回答
大学 全体	57.6	20.0	68.3	55.0	46.0	52.7	34.0	51.2	28.6	4.6
国立	56.5	29.4	83.5	71.8	58.8	57.6	35.3	57.6	38.8	3.5
公立	51.8	14.5	73.5	59.0	41.0	39.8	31.3	41.0	25.3	7.2
私立	58.5	19.5	65.4	52.0	44.9	53.8	34.1	51.7	27.6	4.4
短期大学 全体	50.9	14.0	61.5	50.0	33.5	44.4	29.5	44.7	18.9	6.2
高等専門学校 全体	54.5	16.4	90.9	67.3	45.5	50.9	23.6	50.9	18.2	1.8

### Ⅲ キャリア教育・就職支援

#### 必修科目として学校が設定したキャリア科目の開設状況

必修科目として学校が設定したキャリア科目の開設状況について、「大学(学校)全体で開設」「学部・学科単位で開設」を合わせると、大学全体58.4%、短大全体66.1%、高専全体41.8%となっている。前回調査との比較では、「開設していない」は、各学校種ともに減少した。



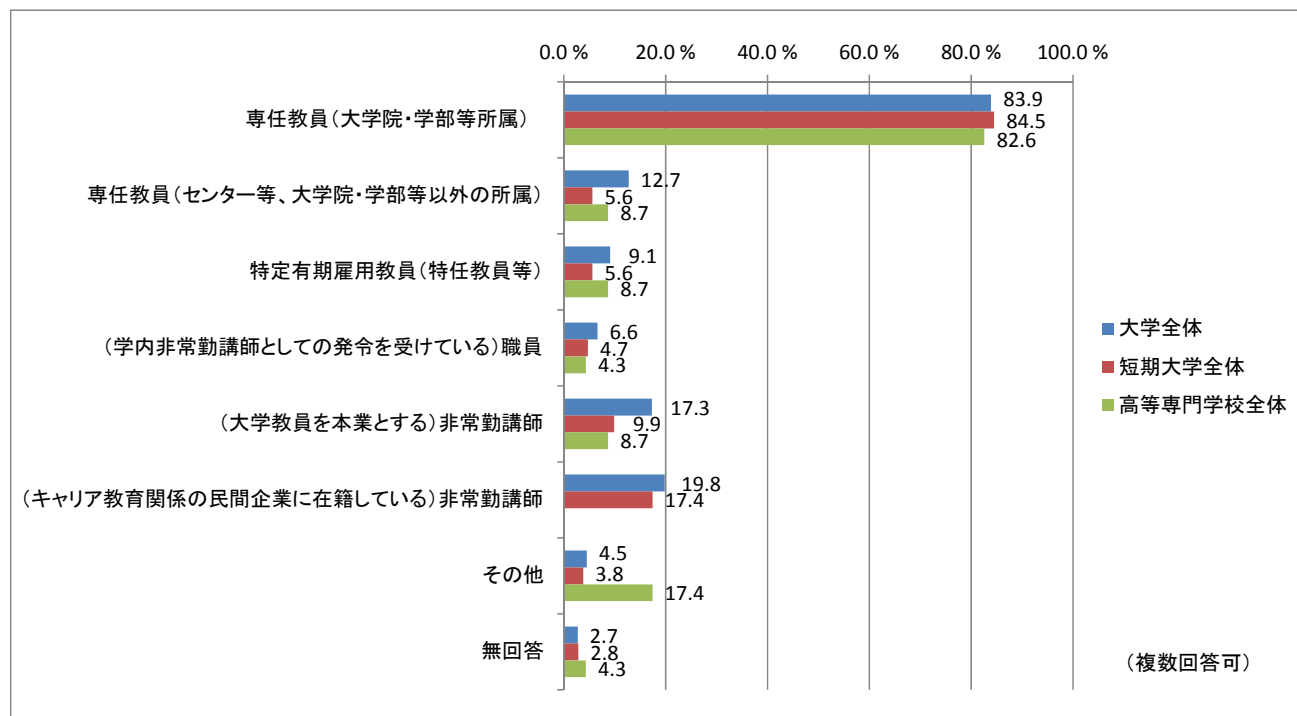
		大学全体で開設している	学部あるいは学科単位で開設している	開設していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	35.3	23.1	41.2	0.4	
		国立	30.6	27.1	42.4	0.0
		公立	24.1	14.5	61.4	0.0
		私立	37.5	23.7	38.2	0.5
	短期大学 全体	42.5	23.6	33.2	0.6	
	高等専門学校 全体	32.7	9.1	56.4	1.8	

<参考>

		開設している	開設していない	無回答	
平成25年度	大学 全体	49.5	49.8	0.7	
		国立	42.4	57.6	0.0
		公立	27.3	72.7	0.0
		私立	53.6	45.6	0.9
	短期大学 全体	57.4	42.2	0.3	
	高等専門学校 全体	29.6	68.5	1.9	

## キャリア科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者

キャリア科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者は、各学校種で「専任教員(大学院・学部等所属)」は8割を超え、多くを占めている。次いで、大学全体・短大全体については「(キャリア教育関係の民間企業に在籍している)非常勤講師」となっている。

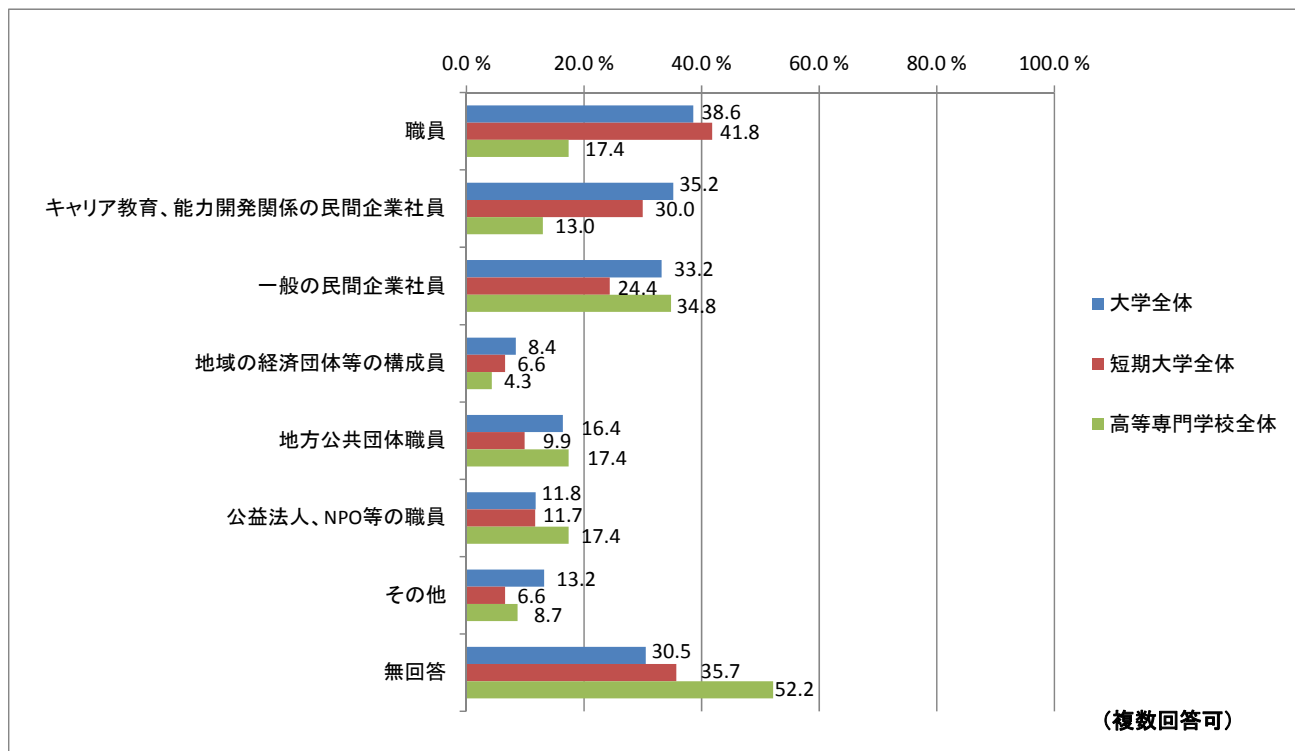


	専任教員(大学院・学部等所属)	専任教員(センター等、大学院・学部等以外の所属)	特定有期雇用教員(特任教員等)	(学内非常勤講師としての発令を受けている)職員	(大学教員を本業とする)非常勤講師	(キャリア教育関係の民間企業に在籍している)非常勤講師	その他	無回答
大学 全体	83.9	12.7	9.1	6.6	17.3	19.8	4.5	2.7
国立	77.6	34.7	22.4	8.2	16.3	8.2	12.2	2.0
公立	87.5	6.3	12.5	3.1	9.4	12.5	12.5	0.0
私立	84.4	10.3	7.0	6.7	18.1	22.0	2.8	3.1
短期大学 全体	84.5	5.6	5.6	4.7	9.9	17.4	3.8	2.8
高等専門学校 全体	82.6	8.7	8.7	4.3	8.7	0.0	17.4	4.3



## キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下で授業の一部を担当する者

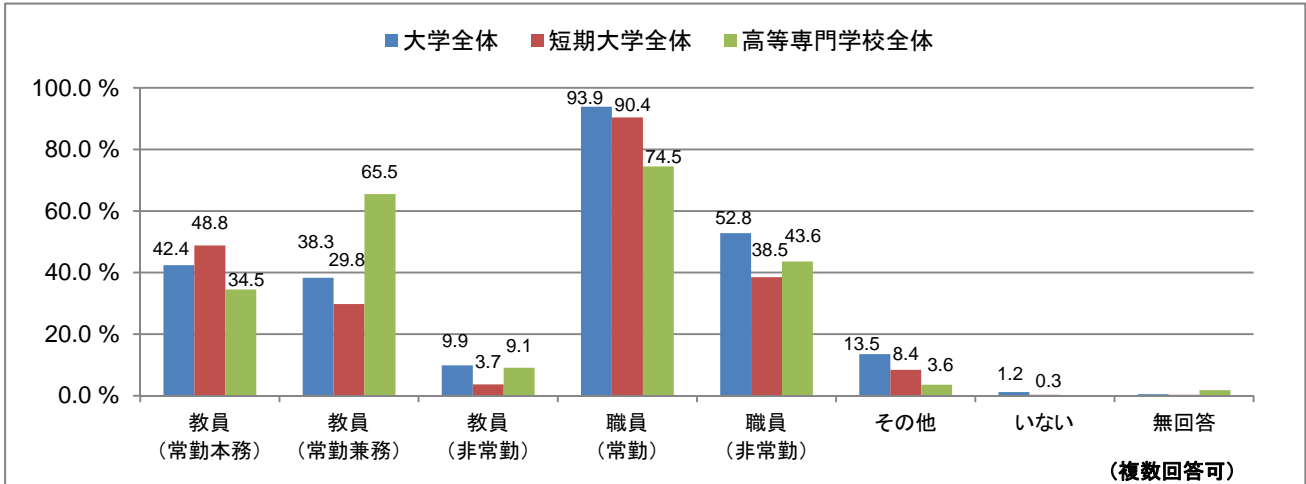
キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下で授業の一部を担当する者は、「職員」が担当している割合が、大学全体で 38.6%、短大全体では 41.8%と最も高い。高専全体では、「一般の民間企業職員」が 34.8%と最も高い。「その他」では、OB、OG 等があった。



	職員	キャリア教育、能力開発関係の民間企業社員	一般の民間企業社員	地域の経済団体等の構成員	地方公共団体職員	公益法人、NPO等の職員	その他	無回答
大学 全体	38.6	35.2	33.2	8.4	16.4	11.8	13.2	30.5
国立	20.4	14.3	46.9	14.3	30.6	22.4	32.7	32.7
公立	18.8	31.3	31.3	6.3	15.6	12.5	9.4	34.4
私立	42.9	38.4	31.5	7.8	14.5	10.3	10.9	29.8
短期大学 全体	41.8	30.0	24.4	6.6	9.9	11.7	6.6	35.7
高等専門学校 全体	17.4	13.0	34.8	4.3	17.4	17.4	8.7	52.2

## 就職支援に関する担当者

就職支援に関する担当者について、各学校種とも、「常勤職員」が大学全体 93.9%、短大全体 90.4%、高専全体 74.5%と最も高く、前回調査と比べて微増している。「その他」としては、外部委託のキャリアカウンセラー等があった。



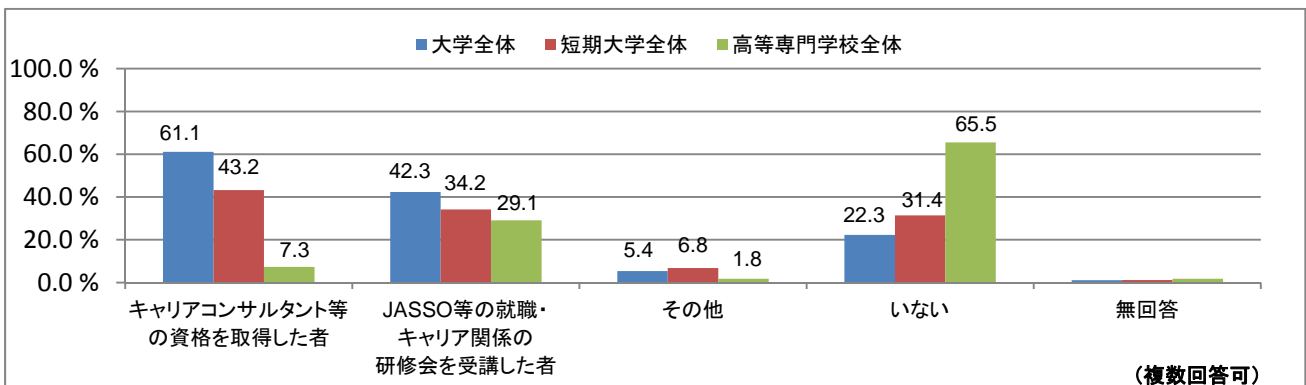
		教員 (常勤本務)	教員 (常勤兼務)	教員 (非常勤)	職員 (常勤)	職員 (非常勤)	その他	いない	無回答
平成27年度	大学 全体	42.4	38.3	9.9	93.9	52.8	13.5	1.2	0.5
	国立	48.2	61.2	24.7	98.8	83.5	23.5	0.0	0.0
	公立	41.0	36.1	3.6	86.7	51.8	6.0	0.0	0.0
	私立	41.8	35.3	8.7	94.2	48.5	13.1	1.5	0.7
	短期大学 全体	48.8	29.8	3.7	90.4	38.5	8.4	0.3	0.3
高等専門学校 全体	34.5	65.5	9.1	74.5	43.6	3.6	0.0	1.8	

<参考>

		教員 (常勤本務)	教員 (常勤兼務)	教員 (非常勤)	職員 (常勤)	職員 (非常勤)	その他	いない	無回答
平成25年度	大学 全体	40.1	39.6	13.1	93.1	53.2	17.1	1.5	0.7
	国立	48.2	58.8	32.9	95.3	81.2	30.6	1.2	0.0
	公立	28.6	33.8	3.9	89.6	54.5	7.8	2.6	1.3
	私立	40.4	37.6	11.4	93.2	48.9	16.3	1.4	0.7
	短期大学 全体	49.2	38.6	9.4	89.7	40.1	9.7	0.0	0.3
高等専門学校 全体	27.8	72.2	9.3	72.2	44.4	7.4	0.0	0.0	

## 就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者

就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者について、大学全体・短大全体では「キャリアコンサルタント等の資格を取得した者」、高専全体では「いない」の割合が高い。



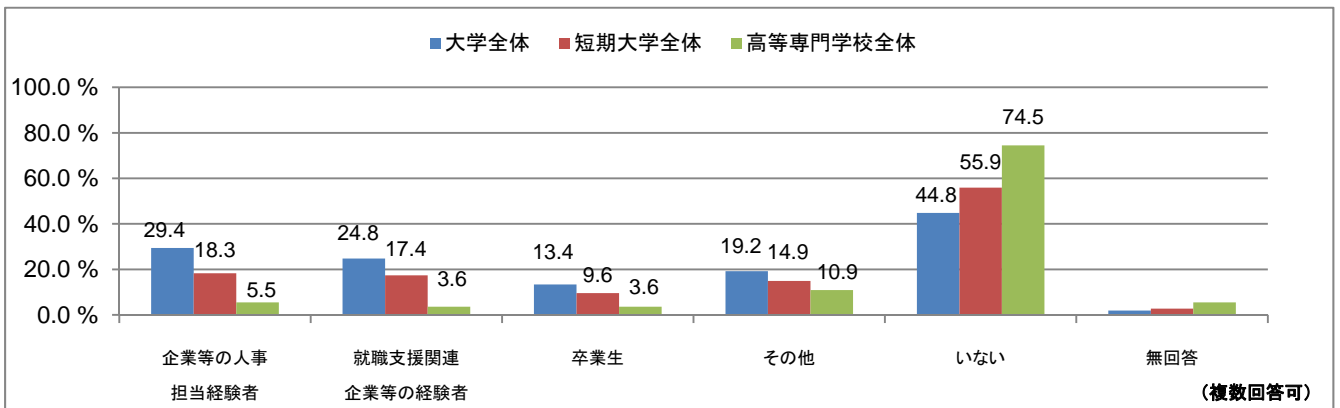
		キャリアコンサルタント等の資格を取得した者	JASSO等の就職・キャリア関係の研修会を受講した者	その他	いない	無回答	
平成27年度	大学 全体	61.1	42.3	5.4	22.3	1.1	
		国立	70.6	61.2	4.7	9.4	0.0
		公立	54.2	34.9	9.6	31.3	0.0
		私立	60.8	40.6	4.9	22.9	1.4
	短期大学 全体	43.2	34.2	6.8	31.4	1.2	
高等専門学校 全体	7.3	29.1	1.8	65.5	1.8		

<参考>

平成25年度	大学 全体	59.7	43.6	6.4	23.8	1.6	
		国立	68.2	61.2	7.1	14.1	1.2
		公立	42.9	40.3	6.5	39.0	0.0
		私立	60.7	41.4	6.2	23.2	1.9
	短期大学 全体	41.6	36.2	6.7	34.7	2.1	
高等専門学校 全体	11.1	33.3	0.0	63.0	0.0		

### 就職支援に関する学外から採用・配置している担当者

就職支援に関する学外から採用・配置している担当者は、「いない」が各学校種とも多くを含めている。採用・配置しているケースでは、大学全体・短大全体では「企業等の人事担当経験者」が(大学全体 29.4%、短大全体 18.3%)と最も高くなっている。



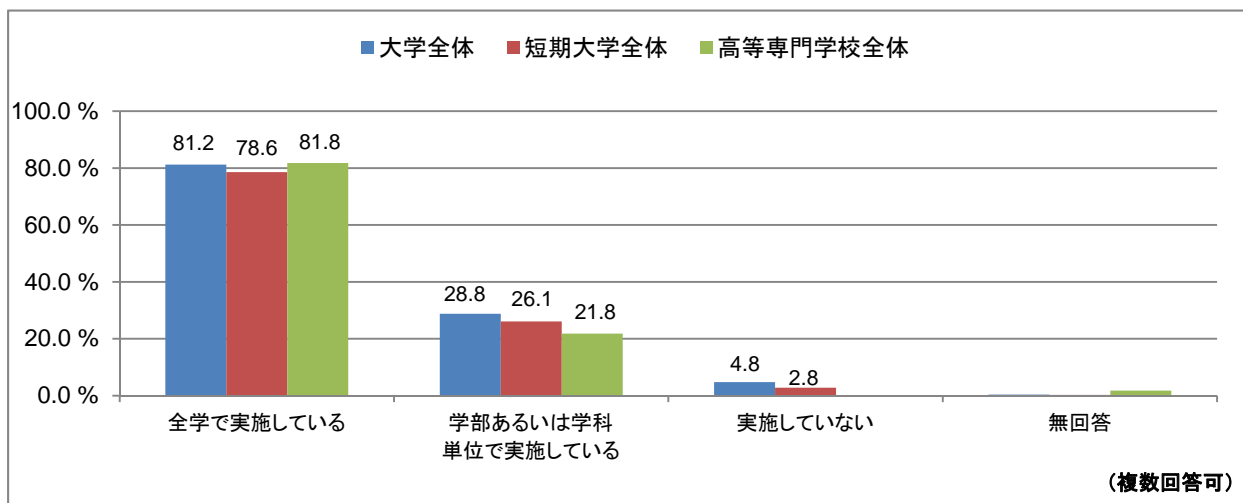
		企業等の人事担当経験者	就職支援関連企業等の経験者	卒業生	その他	いない	無回答	
平成27年度	大学 全体	29.4	24.8	13.4	19.2	44.8	1.9	
		国立	38.8	29.4	23.5	37.6	27.1	0.0
		公立	20.5	19.3	3.6	18.1	53.0	3.6
		私立	29.4	24.9	13.3	16.7	46.2	1.9
	短期大学 全体	18.3	17.4	9.6	14.9	55.9	2.8	
高等専門学校 全体	5.5	3.6	3.6	10.9	74.5	5.5		

<参考>

平成25年度	大学 全体	35.9	25.0	16.6	20.0	39.8	1.8	
		国立	42.4	34.1	27.1	32.9	28.2	1.2
		公立	28.6	13.0	7.8	15.6	49.4	1.3
		私立	35.9	25.3	16.3	18.7	40.2	1.9
	短期大学 全体	24.3	16.4	14.3	16.4	51.1	1.2	
高等専門学校 全体	9.3	3.7	3.7	11.1	79.6	0.0		

## 就職ガイダンス・セミナー等の実施状況

就職ガイダンス・セミナー等の実施状況については、各学校種ともに、「全学で実施している」が最も高い。前回調査と比較すると、「全学で実施している」が減少している一方で、「学部あるいは学科単位で実施している」が増加している。



		全学で実施している	学部あるいは学科単位で実施している (※)	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	81.2	28.8	4.8	0.4	
	国立	91.8	55.3	4.7	0.0	
		公立	78.3	28.9	4.8	1.2
		私立	80.0	24.9	4.8	0.3
	短期大学 全体	78.6	26.1	2.8	0.3	
高等専門学校 全体	81.8	21.8	0.0	1.8		

<参考>

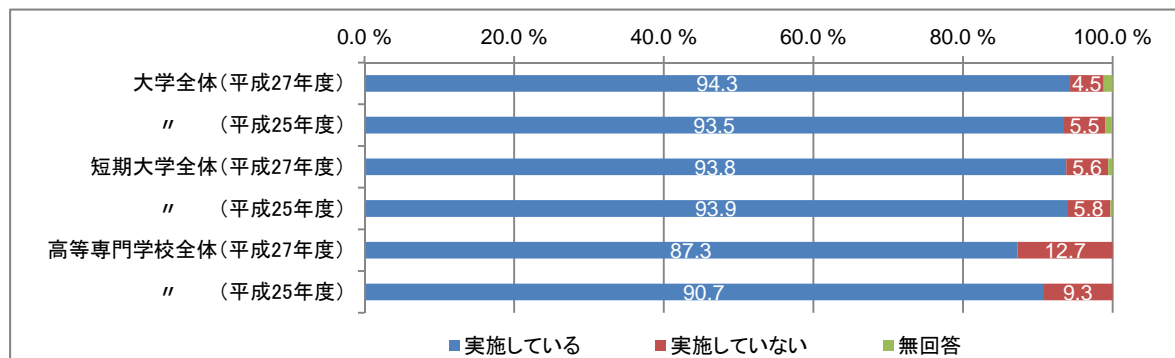
		全学で実施している	学部あるいは学科単位で実施している (※)	実施していない	無回答	
平成25年度	大学 全体	84.6	21.2	5.8	0.5	
	国立	92.9	45.9	5.9	0.0	
		公立	76.6	26.0	6.5	0.0
		私立	84.4	17.0	5.7	0.7
	短期大学 全体	82.7	21.0	3.0	0.3	
高等専門学校 全体	92.6	9.3	3.7	0.0		

※ 平成27年度「学部あるいは学科単位で実施している」・平成25年度「学部単位で実施している」

【平成27年度調査 実施学年の平均値】		大学全体で実施	学部あるいは学科単位で実施
大学 全体		2.8	3.0
国立		2.8	2.9
公立		2.7	3.0
私立		2.8	3.1
短期大学 全体		1.6	1.7
高等専門学校 全体		3.4	3.6

## 卒業年次の学生全員に対する調査の実施

卒業年次の学生全員に対する調査の実施については、各学校種ともに実施率は高い。大学全体・短大全体は、前回調査とほぼ変化はなく、高専全体では減少している。実施している場合の年間平均回数は、高専全体が6.0回で、前回調査同様に最も高かった。



		実施している	実施していない	無回答
平成27年度	大学 全体	94.3	4.5	1.2
	国立	100.0	0.0	0.0
	公立	92.8	6.0	1.2
	私立	93.7	4.9	1.4
	短期大学 全体	93.8	5.6	0.6
	高等専門学校 全体	87.3	12.7	0.0

<参考>

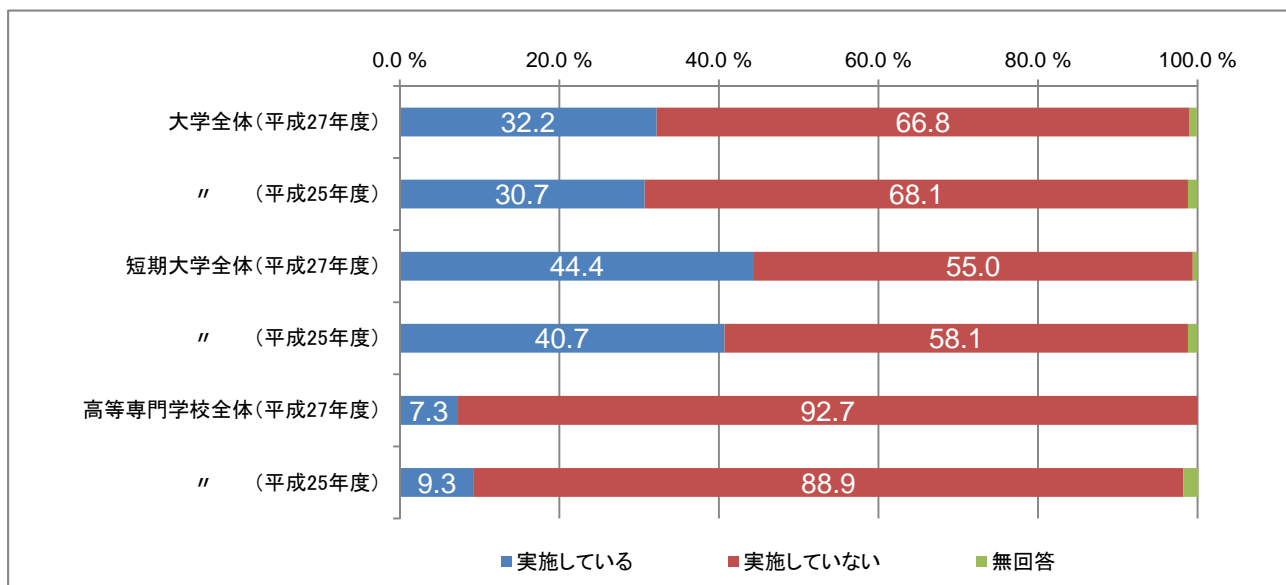
		実施している	実施していない	無回答
平成25年度	大学 全体	93.5	5.5	0.9
	国立	96.5	3.5	0.0
	公立	94.8	3.9	1.3
	私立	92.9	6.1	1.0
	短期大学 全体	93.9	5.8	0.3
	高等専門学校 全体	90.7	9.3	0.0

### 【実施している場合の年間の平均回数】

		平均回数
大学 全体		3.2
	国立	3.9
	公立	2.9
	私立	3.1
短期大学 全体		2.6
高等専門学校 全体		6.0

## 卒業生の現況調査の実施

卒業生の現況調査の実施について、学校種別でみると、最も実施率が高かったのは、短大全体 44.4%であった。前回調査と比較すると、大学全体・短大全体とも増加しているが、高専全体は減少している。



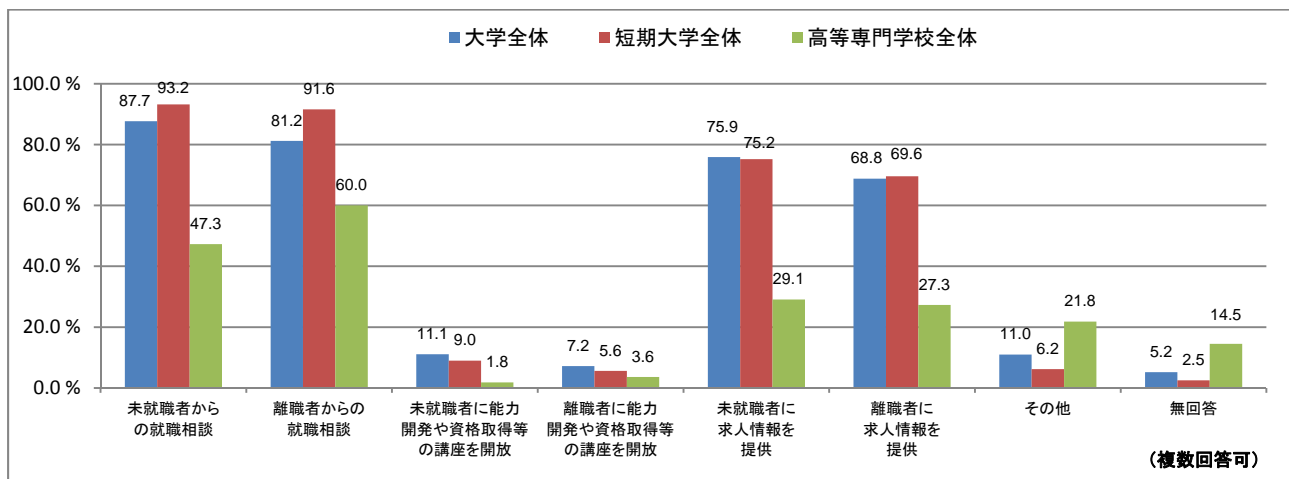
		実施している	実施していない	無回答
平成27年度	大学 全体	32.2	66.8	0.9
	国立	27.1	72.9	0.0
	公立	24.1	74.7	1.2
	私立	34.1	64.8	1.0
	短期大学 全体	44.4	55.0	0.6
高等専門学校 全体	7.3	92.7	0.0	

<参考>

平成25年度	大学 全体	30.7	68.1	1.2
	国立	31.8	68.2	0.0
	公立	24.7	74.0	1.3
	私立	31.4	67.2	1.4
	短期大学 全体	40.7	58.1	1.2
高等専門学校 全体	9.3	88.9	1.9	

## 卒業生に対する支援の状況

卒業生に対する支援の状況について、大学全体・短大全体で「未就職者からの就職相談」が大学全体 87.7%、短大全体 93.2%で最も高く、高専全体では、「離職者からの就職相談」が 60.0%と最も高かった。前回調査と比較すると、特に高専全体では「離職者からの就職相談」が 50.0%から 60.0%と増加した(10.0ポイント増)。



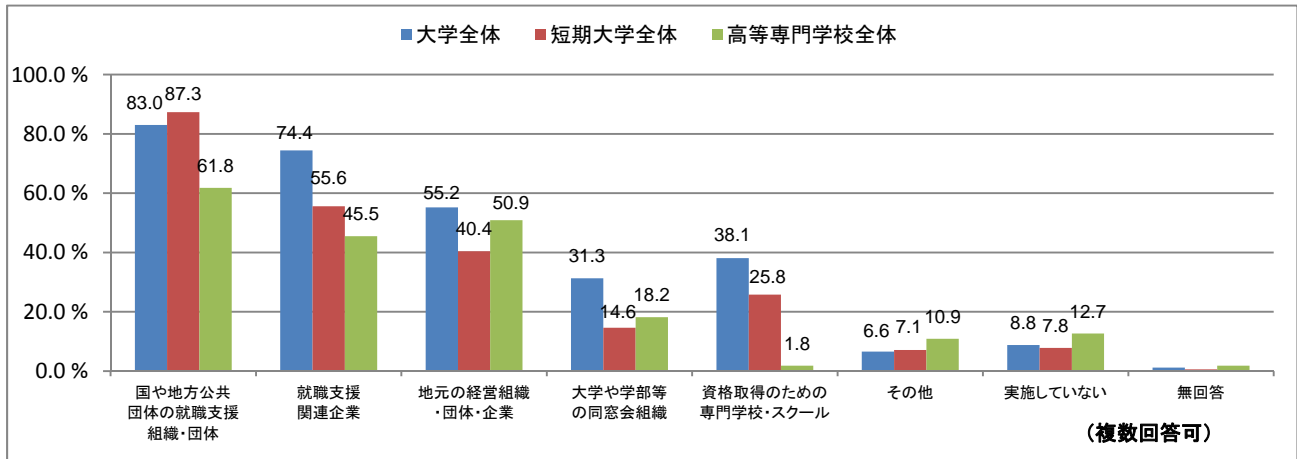
		未就職者からの就職相談	離職者からの就職相談	未就職者に能力開発や資格取得等の講座を開放	離職者に能力開発や資格取得等の講座を開放	未就職者に求人情報を提供	離職者に求人情報を提供	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	87.7	81.2	11.1	7.2	75.9	68.8	11.0	5.2
	国立	90.6	77.6	15.3	10.6	81.2	70.6	17.6	3.5
	公立	77.1	69.9	9.6	7.2	50.6	43.4	8.4	12.0
	私立	88.7	83.3	10.8	6.7	78.7	72.2	10.4	4.4
	短期大学 全体	93.2	91.6	9.0	5.6	75.2	69.6	6.2	2.5
高等専門学校 全体	47.3	60.0	1.8	3.6	29.1	27.3	21.8	14.5	

<参考>

		85.9	80.0	11.5	7.3	77.8	67.0	9.6	6.4
平成25年度	大学 全体	85.9	80.0	11.5	7.3	77.8	67.0	9.6	6.4
	国立	88.2	78.8	15.3	12.9	87.1	68.2	12.9	7.1
	公立	76.6	70.1	6.5	3.9	54.5	45.5	14.3	9.1
	私立	86.8	81.5	11.6	6.9	79.5	69.7	8.5	5.9
	短期大学 全体	89.1	90.0	6.7	5.8	79.3	73.6	6.1	3.0
高等専門学校 全体	42.6	50.0	3.7	3.7	22.2	18.5	16.7	29.6	

## 学外の就職支援組織・団体と連携している就職支援

就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体については、「国や地方公共団体の就職支援組織・団体」が、大学全体83.0%、短大全体87.3%、高専全体61.8%と、各学校種ともに最も高い。前回調査と比較すると、特に高専全体において「地元の経営組織・団体・企業」が38.9%から50.9%と増加した(12.0ポイント増)。



		国や地方公共団体の就職支援組織・団体(※)	就職支援関連企業	地元の経営組織・団体・企業	大学や学部等の同窓会組織	資格取得のための専門学校・スクール	その他	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	83.0	74.4	55.2	31.3	38.1	6.6	8.8	1.2	
		国立	88.2	82.4	62.4	60.0	32.9	11.8	5.9	0.0
		公立	72.3	63.9	41.0	30.1	36.1	6.0	15.7	1.2
		私立	83.8	74.7	56.1	27.3	39.1	6.0	8.2	1.4
	短期大学 全体	87.3	55.6	40.4	14.6	25.8	7.1	7.8	0.6	
高等専門学校 全体	61.8	45.5	50.9	18.2	1.8	10.9	12.7	1.8		

<参考>

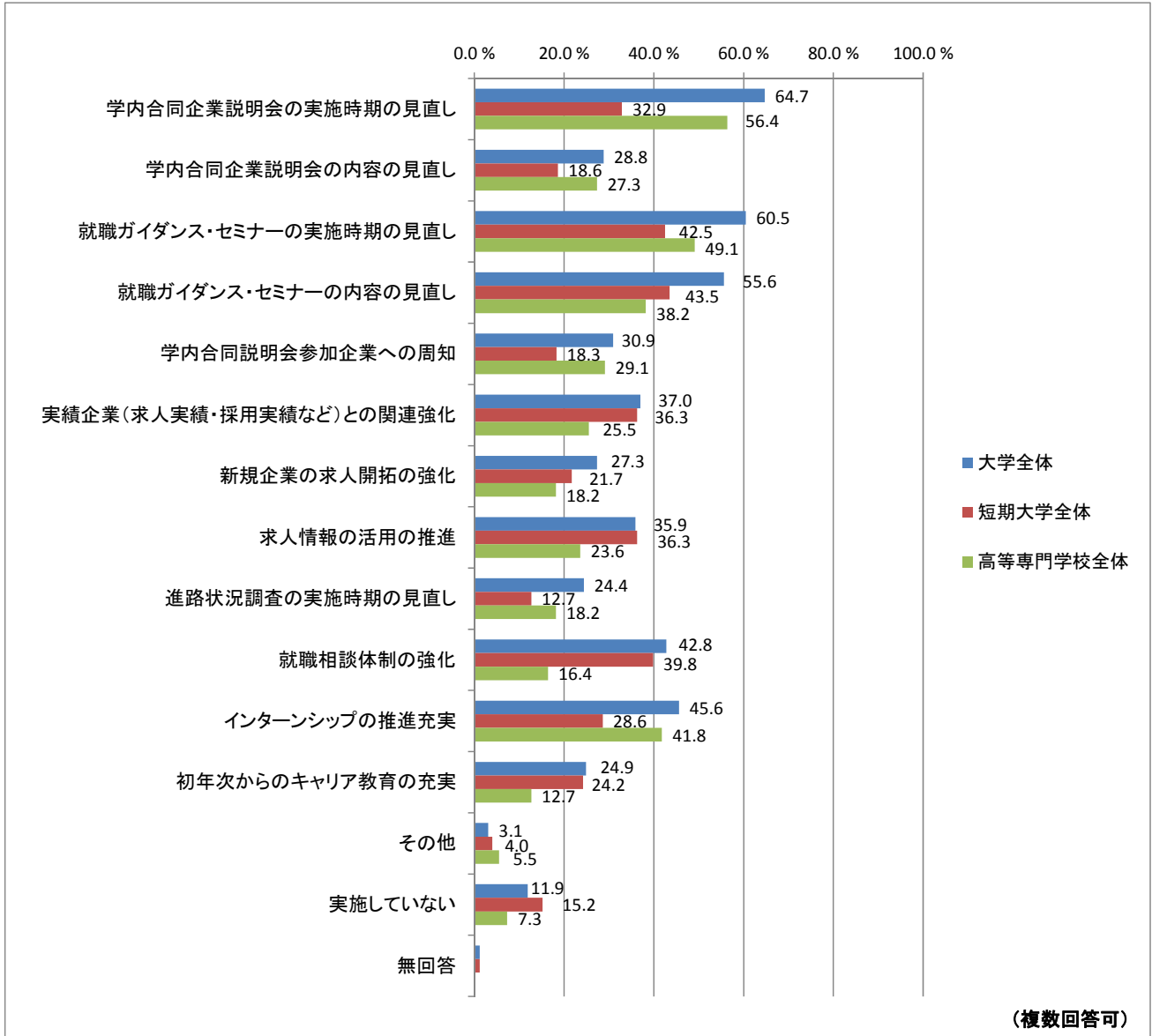
平成25年度	大学 全体	83.6	74.6	56.0	31.1	35.2	6.1	8.0	1.8	
		国立	87.1	85.9	60.0	56.5	28.2	14.1	8.2	1.2
		公立	79.2	74.0	49.4	29.9	32.5	3.9	10.4	1.3
		私立	83.7	73.0	56.3	27.6	36.6	5.2	7.6	1.9
	短期大学 全体	86.0	57.1	41.6	14.3	22.5	4.6	6.4	1.2	
高等専門学校 全体	55.6	46.3	38.9	20.4	3.7	3.7	16.7	1.9		

※ 平成27年度「国や地方公共団体の就職支援組織・団体」・平成25年度「国や自治体主体の就職支援組織・団体」



## 就職・採用活動時期の変更への対応

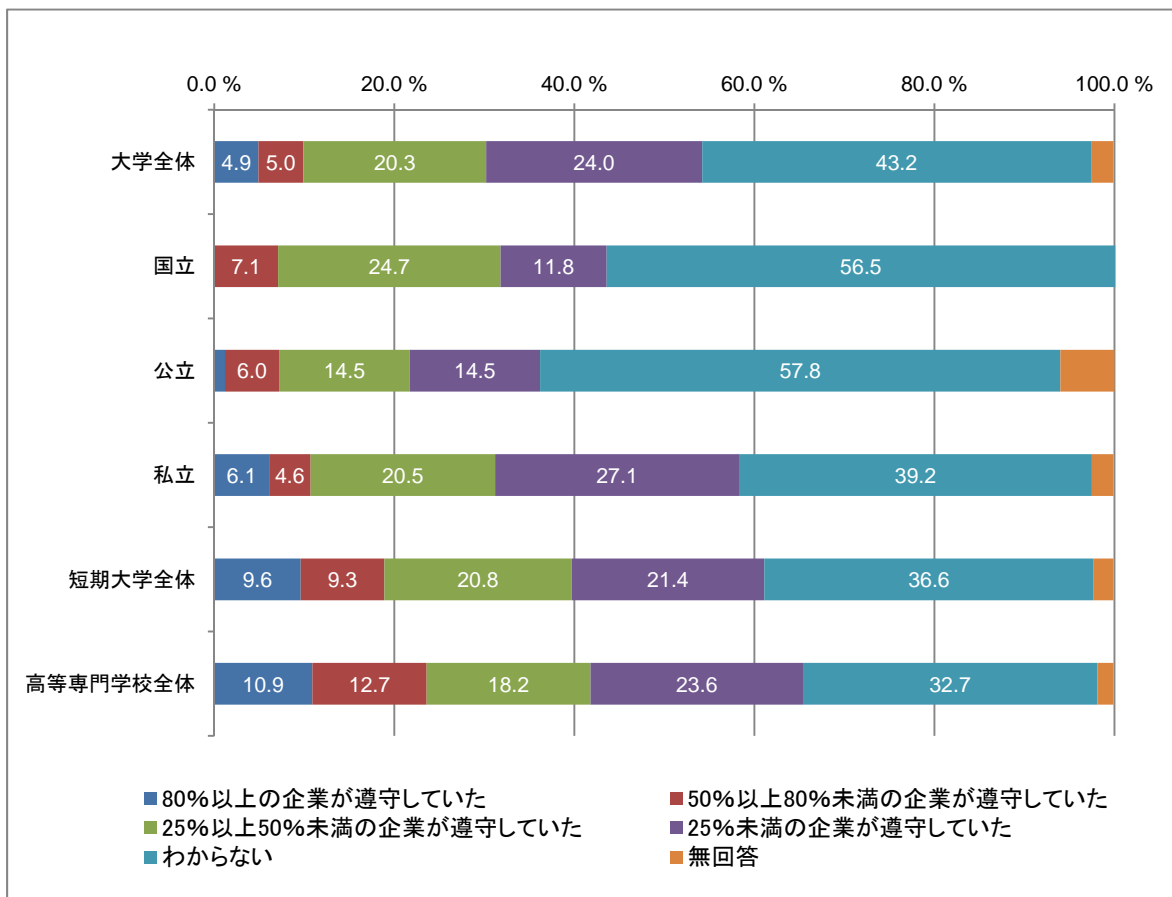
就職・採用活動時期の変更への対応について、大学全体・高専全体においては、「学内合同企業説明会の実施時期の見直し」が大学全体 64.7%、高専全体 56.4%と最も高く、短大全体では、「就職ガイダンス・セミナーの内容の見直し」が、43.5%と最も高かった。



	学内合同企業説明会の実施時期の見直し	学内合同企業説明会の内容の見直し	就職ガイダンス・セミナーの実施時期の見直し	就職ガイダンス・セミナーの内容の見直し	学内合同説明会参加企業への周知	実績企業(求人実績・採用実績など)との関連強化	新規企業の求人開拓の強化	求人情報の活用の推進	進路状況調査の実施時期の見直し	就職相談体制の強化	インターンシップの推進充実	初年次からのキャリア教育の充実	その他	実施していない	無回答
大学 全体	64.7	28.8	60.5	55.6	30.9	37.0	27.3	35.9	24.4	42.8	45.6	24.9	3.1	11.9	1.2
国立	80.0	25.9	74.1	67.1	40.0	18.8	15.3	27.1	24.7	49.4	47.1	27.1	5.9	7.1	0.0
公立	53.0	18.1	50.6	47.0	9.6	24.1	15.7	18.1	24.1	25.3	30.1	13.3	2.4	20.5	3.6
私立	64.2	30.7	59.9	55.1	32.6	41.5	30.7	39.8	24.4	44.4	47.6	26.3	2.7	11.4	1.0
短期大学 全体	32.9	18.6	42.5	43.5	18.3	36.3	21.7	36.3	12.7	39.8	28.6	24.2	4.0	15.2	1.2
高等専門学校 全体	56.4	27.3	49.1	38.2	29.1	25.5	18.2	23.6	18.2	16.4	41.8	12.7	5.5	7.3	0.0

## 企業の採用選考活動時期の状況

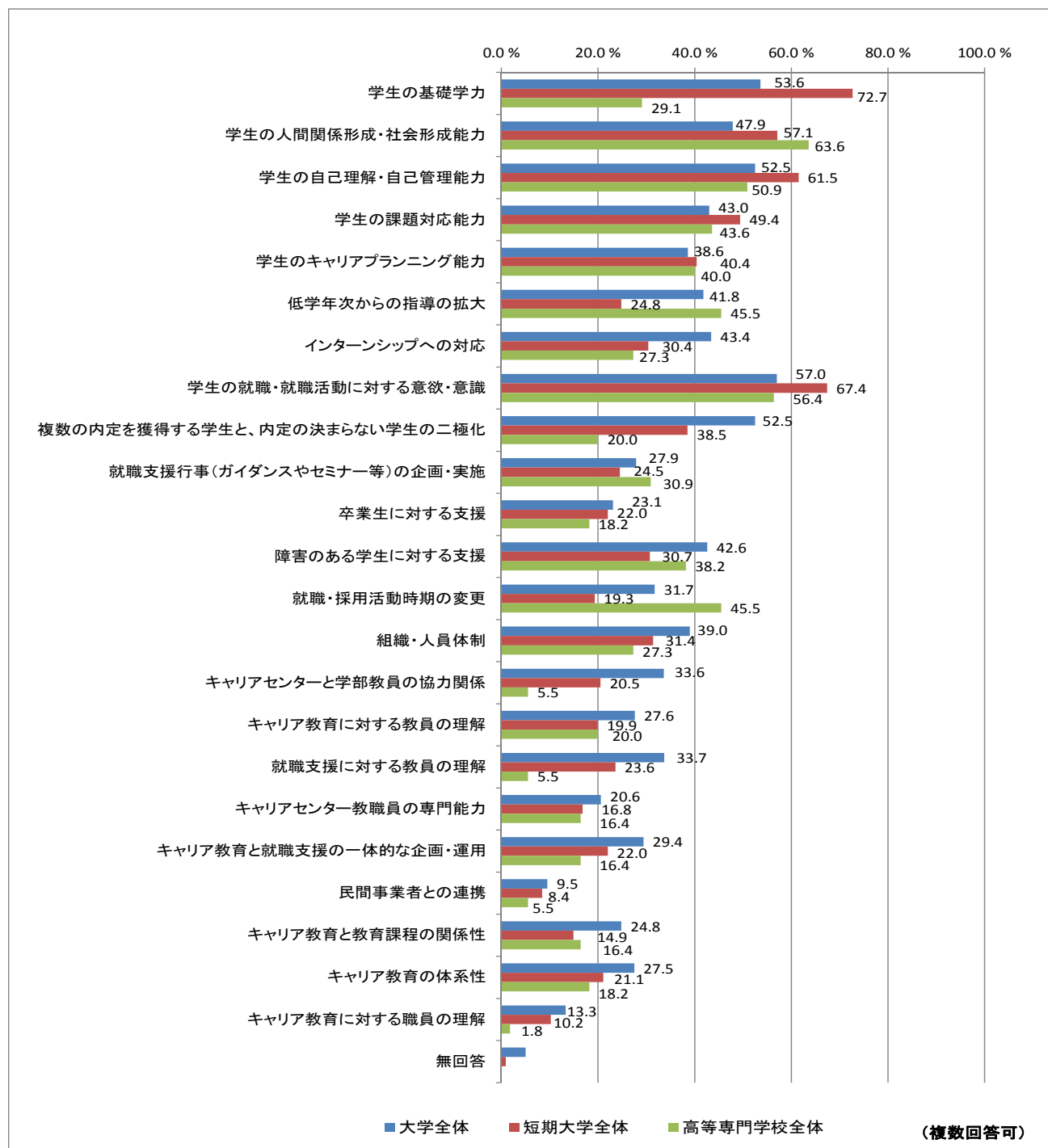
企業の採用選考活動時期について、各学校種とも、「わからない」が多くを含めている。「わからない」を除いた中では、各学校種とも、「25%未満の企業が遵守していた」の割合が、最も高くなっている。



	80%以上企業が遵守していた	50%以上80%未満企業が遵守していた	25%以上50%未満企業が遵守していた	25%未満企業が遵守していた	わからない	無回答
大学 全体	4.9	5.0	20.3	24.0	43.2	2.5
国立	0.0	7.1	24.7	11.8	56.5	0.0
公立	1.2	6.0	14.5	14.5	57.8	6.0
私立	6.1	4.6	20.5	27.1	39.2	2.4
短期大学 全体	9.6	9.3	20.8	21.4	36.6	2.2
高等専門学校 全体	10.9	12.7	18.2	23.6	32.7	1.8

## キャリア教育・就職支援に関する課題

キャリア教育・就職支援に関する課題について、大学全体では「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識」が 57.0%、短大全体では「学生の基礎学力」が 72.7%、高専全体では「学生の人間関係形成・社会形成能力」が 63.6%で、最も高い結果であった。各学校種共通して高いのは「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識」(大学全体 57.0%、短大全体 67.4%、高専全体 56.4%)、「学生の自己理解・自己管理能力」(大学全体 52.5%、短大全体 61.5%、高専全体 50.9%)であった。



	学生の基礎 学力	学生の人間 関係形成・ 社会形成能 力	学生の自己 理解・自己 管理能力	学生の課題 対応能力	学生のキャ リアプランニ ング能力	低学年次か らの指導の 拡大	インターン シップへの 対応	学生の就 職・就職活 動に対する 意欲・意識	複数の内 定を獲得す る学生と、 内定の決ま らない学生 の二極化	就職支援 行事(ガイ ダンスやセ ミナー等) の企画・実 施	卒業生に対 する支援	障害のある 学生に対す る支援	
大学 全体	53.6	47.9	52.5	43.0	38.6	41.8	43.4	57.0	52.5	27.9	23.1	42.6	
	国立	17.6	50.6	45.9	42.4	37.6	44.7	50.6	48.2	51.8	31.8	38.8	47.1
	公立	19.3	30.1	24.1	19.3	27.7	25.3	27.7	39.8	37.3	30.1	20.5	24.1
	私立	63.7	50.0	57.5	46.4	40.3	43.7	44.5	60.8	54.8	27.0	21.2	44.5
短期大学 全体	72.7	57.1	61.5	49.4	40.4	24.8	30.4	67.4	38.5	24.5	22.0	30.7	
高等専門学校 全体	29.1	63.6	50.9	43.6	40.0	45.5	27.3	56.4	20.0	30.9	18.2	38.2	

	就職・採用 活動時期 の変更	組織・人員 体制	キャリアセ ンターと学 部教員の 協力関係	キャリア教 育に対する 教員の理 解	就職支援に 対する教員 の理解	キャリアセ ンター-教職 員の専門 能力	キャリア教 育と就職支 援の一体 的な企画・ 運用	民間事業 者との連携	キャリア教 育と教育課 程の関係 性	キャリア教 育の体系 性	キャリア教 育に対する 職員理 解	無回答
大学 全体	31.7	39.0	33.6	27.6	33.7	20.6	29.4	9.5	24.8	27.5	13.3	5.0
	国立	49.4	47.1	41.2	34.1	42.4	18.8	30.6	11.8	28.2	35.3	2.4
	公立	26.5	39.8	32.5	19.3	30.1	13.3	20.5	9.6	20.5	21.7	9.6
	私立	29.9	37.7	32.6	27.8	32.9	21.8	30.5	9.2	24.9	27.1	4.8
短期大学 全体	19.3	31.4	20.5	19.9	23.6	16.8	22.0	8.4	14.9	21.1	10.2	0.9
高等専門学校 全体	45.5	27.3	5.5	20.0	5.5	16.4	16.4	5.5	16.4	18.2	1.8	0.0